

平成19年度
国分寺市埋蔵文化財調査年報

2009年3月
国分寺市教育委員会

例 言

1. 本書は、東京都国分寺市において、平成 19 年度に実施した個人住宅建設に伴う埋蔵文化財発掘調査および民間開発に伴う確認調査の概要をまとめたものである。なお、付編として昭和 50 年代及び平成元年～9 年度に実施した個人住宅建設及び遺構確認に伴う埋蔵文化財発掘調査のうち、遺構・遺物の検出がなかった小規模調査を掲載した。昭和 50 年代は、平成 18 年度年報の遺漏分である。
2. 発掘調査は文化庁と東京都の補助を受け、国分寺市教育委員会が調査主体者となり国分寺市遺跡調査会に委託して調査を実施した。
3. 本書の執筆は国分寺市教育委員会立川明子が担当し、国分寺市遺跡調査会が輔けた。また資料収集に際しては国分寺市遺跡調査会の協力を得た。

凡 例

1. 本書に記載した各遺跡における遺構表示は、下記の記号を冠して遺構毎に連続番号を与え登録している。但し小穴については調査回数ごとに連続番号を付している。縄文時代の住居、土坑は末尾に J を付し、小穴は PJ を冠して、歴史時代の遺構と区別している。

SB (掘立柱建物、柱穴) SI (竪穴住居) SD (溝) SK (土坑)
 SS (集石) P (歴史時代小穴) PJ (縄文時代小穴)

2. 本書に記載した遺物は、調査回数ごとに下記の記号を冠し種別ごとに連続番号を与えて登録したものに通し番号を与え表示した。

歴史時代	土器類	PH (土師器)	PK (須恵器)	PL (土師質土器)	PN (灰釉陶器)
	瓦埴類	KC (男瓦)	KD (女瓦)		
	金属製品	MA (鉄貨銅製品)	MM (釘鉄製品)	MZ (不明鉄製品)	
縄文時代	土器類	JF (中期後半)			
	石器類	AG (打製石斧)	AI (調整剥片石器)	AL (磨石)	
		AT (剥片)	AZ (不明石器)		

3. 縮尺は下記の通りである。

遺構	全体図	1/100	1/125	1/150	1/160	1/200	1/240	1/250	1/300	1/320	1/1500
遺物	歴史時代	〔図面〕	土器類	1/3	瓦類	1/4	金属製品	1/2	鉄貨銅製品	1/1	
	縄文時代	〔図面〕	土器	1/3	石器類	1/3					

4. 調査の基準線は、武蔵国分寺跡においては僧寺金堂・講堂間に原点を置く局地座標系(旧日本測地系座標に変換可)による。恋ヶ窪遺跡他については旧日本測地座標第9系による。
5. 調査の分層は武蔵国分寺跡周辺の調査における国分寺市遺跡調査会の層位区分に基づいて行っており、本書における呼称も同様である。(参考:1985『武蔵国分寺跡発掘調査概報Ⅷ』)
6. 遺物観察表は種別ごとにまとめ、図面番号順に列記している。表中の計測値は、括弧の無いものは完数値、() のあるものは残存数値、(()) のあるものは復元数値、- は計測不可を示す。

瓦の分類は『武蔵国分寺跡発掘調査概報 33』(国分寺市遺跡調査会 2006)に拠る。

目次

例言	1	
凡例	1	
目次	2	
平成19年度遺跡調査会組織	3	
第1章 平成19年度埋蔵文化財行政の概要	4	
第2章 平成19年度埋蔵文化財調査の概要	9	
平成19年度 調査地区一覧	10	
平成19年度調査地区位置図	11	
① 武蔵国分寺跡第620次調査	確認調査	12
② 武蔵国分寺跡第622次調査	確認調査	14
③ 武蔵国分寺跡第623次調査	個人宅造地	16
④ 武蔵国分寺跡第624次調査	個人宅造地	18
⑤ 武蔵国分寺跡第628次調査	個人宅造地	20
⑥ 武蔵国分寺跡第629次調査	確認調査	22
⑦ 恋ヶ窪南遺跡第4次調査	確認調査	24
⑧ 花沢西遺跡第20次調査	個人宅造地	26
⑨ 殿ヶ谷戸遺跡第9次調査	確認調査	28
⑩ 殿ヶ谷戸遺跡第10次調査	確認調査	30
⑪ 本町遺跡第13次調査	確認調査	32
⑫ 恋ヶ窪東遺跡第19次調査	確認調査	34
付編 昭和50年代、平成元年～9年度の小規模調査概要	36	
昭和50年代、平成元年～9年度 調査地区一覧	36	
武蔵国分寺跡調査地区位置図	37	
① 武蔵国分寺跡第337次調査	個人宅造地	38
② 武蔵国分寺跡第349次調査	個人宅造地	38
③ 武蔵国分寺跡第350次調査	個人宅造地	40
④ 武蔵国分寺跡第352次調査	個人宅造地	40
⑤ 武蔵国分寺跡第365次調査	個人宅造地	42
⑥ 武蔵国分寺跡第367次調査	個人宅造地	42
⑦ 武蔵国分寺跡第378次調査	個人宅造地	44
⑧ 武蔵国分寺跡第391次調査	個人宅造地	44
⑨ 武蔵国分寺跡第399次調査	個人宅造地	46
⑩ 武蔵国分寺跡第410次調査	個人宅造地	46
⑪ 武蔵国分寺跡第416次調査	個人宅造地	48
⑫ 武蔵国分寺跡第422次調査	個人宅造地	48
⑬ 武蔵国分寺跡第425次調査	個人宅造地	50
⑭ 武蔵国分寺跡第441次調査	個人宅造地	50
⑮ 武蔵国分寺跡第450次調査	個人宅造地	52
⑯ 武蔵国分寺跡第456次調査	個人宅造地	52
恋ヶ窪遺跡他調査地区位置図	54	
⑰ No.42遺跡第1次調査	確認調査	55
⑱ No.45遺跡第1次調査	確認調査	55
⑲ 恋ヶ窪遺跡第32次調査	個人宅造地	57
⑳ 恋ヶ窪遺跡第45次調査	個人宅造地	57
㉑ 恋ヶ窪遺跡第50次調査	個人宅造地	59
㉒ 恋ヶ窪遺跡第53次調査	個人宅造地	59
㉓ 恋ヶ窪遺跡第59次調査	個人宅造地	61
㉔ 恋ヶ窪遺跡第62次調査	個人宅造地	61
遺物観察表	63	
遺物図面	65	

平成 19 年度 遺跡調査会組織

— 役員および監事 —

会 長	坂 詰 秀 一	国分寺市文化財保護審議会委員長
副 会 長	関 口 雄基臣	国分寺市文化財保護審議会副委員長
理 事	星 野 信 夫	国分寺市長
理 事	内 田 修	国分寺市教育委員会委員長
理 事	松 井 敏 夫	国分寺市教育委員会教育長
理 事	星 野 亮 雅	元国分寺市社会教育委員
理 事	古 関 豊	国分寺市文化財保護審議会委員
理 事	北 原 進	国分寺市文化財保護審議会委員
理 事	坂 本 克 治	国分寺市文化財保護審議会委員
理 事	小 菅 政 治	東京都教育庁生涯学習部計画課長
専務理事	竹 内 悟	国分寺市教育委員会教育次長兼教育部長
監 事	榎 戸 深	元国分寺市社会教育委員
監 事	岡 崎 亮 樹	東京都教育庁生涯学習部計画課埋蔵文化財係長

— 武蔵国分寺跡調査・研究指導委員会 —

委 員 長	坂 詰 秀 一	(考古学) 立正大学名誉教授
委 員	藤 井 恵 介	(建築史) 東京大学大学院工学系研究科准教授
委 員	佐 藤 信	(古代史) 東京大学大学院人文社会系研究科教授

— 事務局 —

事務局 長	福 田 信 夫	国分寺市教育委員会教育部ふるさと文化財課長
事務局 員	豊 泉 文 夫	国分寺市教育委員会教育部ふるさと文化財課文化財保護係長
事務局 員	太 田 和 子	国分寺市教育委員会教育部ふるさと文化財課文化財普及担当係長
事務局 員	松 田 亜紀子	国分寺市教育委員会教育部ふるさと文化財課史跡係員
事務局 員	中 舎 まり子	国分寺市教育委員会教育部ふるさと文化財課保護係嘱託
事務局 員	稲 井 亮	国分寺市遺跡調査会

— 調査団 —

団 長	坂 詰 秀 一	立正大学名誉教授
主任調査員	上敷領 久	国分寺市教育委員会教育部ふるさと文化財課史跡係長
調 査 員	小野本 敦	国分寺市教育委員会教育部ふるさと文化財課史跡係員
調 査 員	中 道 誠	国分寺市教育委員会教育部ふるさと文化財課史跡係嘱託
調 査 員	立 川 明 子	国分寺市教育委員会教育部ふるさと文化財課史跡係嘱託

第1章 平成19年度埋蔵文化財行政の概要

1. 土木工事に関する埋蔵文化財調査

平成19年度の周知の遺跡内における土木工事の届出は165件あり、慎重工事と教育委員会が具申した工事を除き、年度内に実施したのは立会調査74件、確認調査9件、本調査5件、試掘1件である。

第1表 土木工事に関する調査内訳

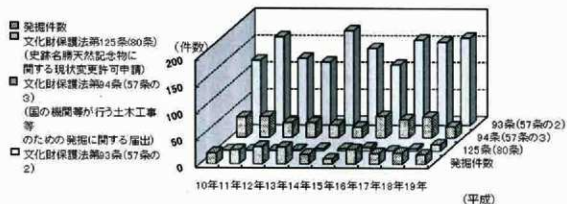
立会調査	公共工事	10	74	89
	民間事業	64		
確認調査		9		
試掘調査		1		
本調査	民間開発	2	5	
	個人宅造	3		

調査原因を事業者別で見ると、公共工事業が11件、民間事業が78件である。事業計画内容の内訳は、公共事業では水道工事3件、道路整備工事3件、ガス工事2件、公園整備工事1件、防球ネット工事1件、解体工事1件、民間事業ではガス工事23件、個人宅造14件、電気・電話工事11件、水道工事9件、共同・集合住宅建設8件、建売住宅建設6件、宅地造成2件、店舗建設2件、道路工事1件、擁壁工事1件、駐車場造成1件である。(第2表)

2. 発掘届の推移

文化財保護法第125条(80条)(史跡名勝天然記念物に関する現状変更許可申請)、第94条(57条の3)(国の機関等が行う土木工事等のための発掘に関する届出)、第93条(57条の2)(民間が行う土木工事等のための発掘に関する届出)の発掘届の推移は以下の通りである。

【発掘届の推移】



第3表 発掘届件数

(平成)	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年
発掘件数	20	26	32	31	18	10	27	20	21	18
125条(80条)	1	1	1	2	4	4	6	0	4	12
94条(57条の3)	39	40	29	29	25	21	41	35	40	22
93条(57条の2)	120	164	124	117	176	143	112	159	155	163

平成19年度の土木工事に関する届出(第93条・第94条)は前節で既述した通りである。史跡名勝天然記念物に関する現状変更許可申請(第125条)は以下の12件である。

第4表 史跡名勝天然記念物に関する現状変更内容

施工場所	現状変更内容	件数
史跡武蔵国分寺跡	防犯灯立替え工事	2
史跡武蔵国分寺跡	国指定武蔵国分寺跡(僧寺地区)史跡保存整備事業に伴う事前遺構確認調査	1
史跡武蔵国分寺跡	国指定武蔵国分寺跡僧寺北東地域保存整備工事	1
史跡武蔵国分寺跡	国指定武蔵国分寺跡(尼寺地区)園路舗装表層の打ち替え工事	2
史跡武蔵国分寺跡	文化財展示施設(改修予定)の維持管理のためのフェンス設置工事	2
史跡武蔵国分寺跡	道路舗装工事	1
史跡武蔵国分寺跡	道標撤去・設置工事	1
史跡武蔵国分寺跡	玉石擁壁撤去・設置工事	1
都指定史跡 東山道武蔵路	道路舗装工事	1

3. 発掘面積の推移

発掘面積の推移は以下の通りである。平成19年度は、民間開発事業に伴う発掘調査および確認調査が減少し、公共機関による開発事業に伴う発掘調査が増加した。



第5表 事業別発掘面積

(平成)	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年
民間	2072.5	1932.23	2985.43	3448.17	5396.82	7508.6	455.58	694.74	867.74	270.73
公共機関	5328.9	4951.95	8255.94	3707	1114.61	3992.98	4088.25	215.2	0	792.26
市下水道	0	64.5	0	110.1	0	0	0	0	0	0
個人宅造	71.89	138.1	330.74	156.44	144.48	18.71	263.41	322.59	220.15	120.82
遺構確認調査	0	213.7	0	207.67	117.25	177.4	1055.4	1456.31	1604.92	628.56
開発確認調査	0	0	0	0	0	149.45	430.17	84.55	512.61	276.28

4. 報告書の刊行

平成19年度に国分寺市教育委員会および国分寺市遺跡調査会が刊行した発掘調査等の報告書は以下の通りである。調査原因が民間事業による発掘調査報告書1冊、国庫補助金による発掘調査報告書3冊である。

第6表 刊行報告書

タイトル	副題	原因
東山道武蔵路発掘調査概報Ⅰ	都市計画道路3・4・6号線築造工事に伴う調査	民間
恋ヶ窪遺跡Ⅴ	本文編	国分寺市
国指定史跡武蔵国分寺跡	平成17・18年度保存整備事業に伴う事前遺構確認調査	国分寺市
平成18年度国分寺市埋蔵文化財調査年報		国分寺市

5. 国庫補助金によって実施した発掘調査・整理作業

平成19年度における国庫補助金によって実施した発掘調査は、16地区である。事業別内訳は史跡武蔵国分寺跡（僧寺地区）事前遺構確認調査4地区、建売住宅建設等民間開発に伴う確認調査8地区、個人住宅建設に伴う本調査4地区である。

整理作業は、史跡武蔵国分寺跡事前遺構確認調査と、市内遺跡における個人住宅建設及び確認調査22地区の図面整理と出土遺物の基礎整理作業を実施した。

第2表 立会い調査内訳一覧(1)

通番	遺跡No	申請内容	指示内容	工事面積(m)	調査結果	実施日
1	19	ガス	立会	0.6	-	連絡なし
2	19	電気	立会	1.4	III層検出	06.8.8
3	21	集合住宅	確認	294.9	詳細第2章K21-9	
4	19	ガス	立会	176	覆乱	06.4.25
5	53	個人住宅	立命	205	覆乱	06.6.19
6	10-19	個人住宅	本調査	100	詳細第3章MKIII-624	
7	57	個人住宅	本調査	58	詳細第2章K57-19	
8	57	個人住宅	本調査	58		
9	8	ガス	立会	1.3	GL-30cmでIII層検出	06.6.8
10	19	水道	立会	148	-	連絡なし
11	7	建売住宅	立会	82	-	連絡なし
12	7	建売住宅	立会	70	-	連絡なし
13	7	建売住宅	立会	82	-	連絡なし
14	19	電気	立命	1.4	GL-45cmでIV層検出	06.5.32
15	10-19	宅地造成	本調査	1315	MKII-621	
16	2	ガス	立命	9.6	-	連絡なし
17	57	建売住宅	立会	72.5	-	連絡なし
18	10-19	ガス	立命	0.7	-	連絡なし
19	19	水道	立会	2.4	覆乱	06.6.27
20	7	建売住宅	立命	82.8	覆乱	06.5.15
21	7	建売住宅	立命	239	覆乱	06.5.15
22	19	ガス	立命	1.3	覆乱	06.5.11
23	57	水道	立命	58	覆乱	06.8.1
24	57	電気	立命	0.7	-	連絡なし
25	10-19	個人住宅	立命	135	-	連絡なし
26	10-19	水道	立命	23.7	覆乱	06.6.4
27	10-19	水道	立命	174	奈良・平の遺物出土	06.5.31
28	10-19	水道	立命	138.8	-	連絡なし
29	47	ガス	立命	7.1	覆乱	06.5.28
30	47	ガス	立命	83.2	-	連絡なし
31	54	電気	立命	2.1	GL-80cmでIV層検出	06.7.9
32	19	個人住宅	立命	89.8	表土	06.6.11
33	2	ガス	立命	1.2	-	連絡なし
34	47	個人住宅	立命	132.8	覆乱	06.8.10
35	8	電気	立命	0.7	-	連絡なし
36	2	建売住宅	立命	180.5	-	連絡なし
37	19	ガス	立命	1.9	覆乱	06.6.7
38	10-19	電気	立命	1.4	覆乱	06.7.26
39	57	集合住宅	立命	143	-	連絡なし
40	47	個人住宅	立命	806	GL-60cmでIV層検出	06.8.29
41	1	水道	立命	297	-	連絡なし
42	47	ガス	立命	3.6	覆乱	06.6.13
43	9-19	道路	慎重工事	917	-	連絡なし
44	10	ガス	立命	54	覆乱	06.7.5
45	37	ガス	立命	10.2	-	連絡なし
46	11	店舗	立命	124	覆乱	06.7.23
47	54	ガス	立命	0.6	GL-80cmでV層検出	06.9.26
48	28	水道	立命	102	覆乱	06.7.31
49	6-28	道路	立命	1834	-	連絡なし

通番	遺跡No	申請内容	指示内容	工事面積(m)	調査結果	実施日
50	19	電気	立命	3.6	GL-60cmでIII層検出	06.7.20
51	57	ガス	立命	4.2	-	連絡なし
52	19	ガス	立命	6.6	-	連絡なし
53	20	ガス	立命	1.4	-	連絡なし
54	54	集合住宅	立命	244	覆乱	06.8.29
55	38	電気	立命	1.4	GL-60cmでIII層検出	06.7.13
56	40	集合住宅	立命	244	-	連絡なし
57	6	電気	立命	0.3	-	連絡なし
58	7	ガス	立命	22.8	覆乱	07.9.1
59	18-19	電気	立命	2.8	GL-80cmでV層検出	07.8.21
60	28	ガス	立命	8.6	-	連絡なし
61	25	ガス	立命	1.3	GL-50cmでIII層検出	07.9.4
62	10-19	建売住宅	本調査	1220	MKII-626	
63	54	ガス	立命	1.9	覆乱	07.8.25
64	21	ガス	立命	0.6	-	連絡なし
65	21	電気	立命	0.6	-	連絡なし
66	47	個人住宅	立命	300	-	連絡なし
67	19	個人住宅	立命	94.4	覆乱	07.9.8
68	47	電気	立命	2.8	-	連絡なし
69	54	電気	立命	2.8	覆乱	07.8.22
70	28	電気	立命	87.3	覆乱	07.9.26
71	19	解体	試掘	2501	MKIII-627	
72	19	ガス	立命	39.6	覆乱	06.9.13
73	57	ガス	立命	145	覆乱	07.3.19
74	26	ガス	立命	4.7	覆乱	07.9.3
75	11-19	ガス	立命	0.6	GL-70cmでIV層検出	07.8.31
76	10-19	水道	立命	12	GL-60cmでIII層検出	07.9.18
77	47	個人住宅	立命	156	-	連絡なし
78	18-19	電気	立命	0.3	-	連絡なし
79	3-19	集合住宅	確認	265	詳細第2章K3-4	
80	56	道路	立命	1728	覆乱	07.10.16
81	19	舗装	立命	215.2	表土	07.10.31
82	8-57	ガス	立命	6.9	覆乱	07.10.11
83	19	水道	立命	0.6	-	連絡なし
84	57	道路	立命	2699	-	連絡なし
85	19	個人住宅	立命	170	表土	07.11.28
86	3-19	ガス	立命	0.8	-	連絡なし
87	21	ガス	立命	2	-	連絡なし
88	53	ガス	立命	5.3	-	連絡なし
89	20	ガス	立命	5.1	-	連絡なし
90	8	電気	立命	0.3	-	連絡なし
91	19	ガス	立命	1.4	-	連絡なし
92	8	ガス	立命	12.4	-	連絡なし
93	54	ガス	立命	6.6	-	連絡なし
94	21	ガス	立命	23.3	-	連絡なし
95	2	電気	立命	2.8	-	連絡なし
96	2-5	ガス	立命	751.9	-	連絡なし
97	54	集合住宅	立命	3025	-	連絡なし
98	54	ガス	立命	31624	-	連絡なし

第2表 立会い調査内訳一覧(2)

通番	遺跡No	申請工事内容	指示内容	工事面積(m ²)	調査結果	実施日
99	21	ガス	立会	0.3	-	連絡なし
100	54	集合住宅	立会	254.9	GL-190cmでV層検出	07.10.15
101	57	電気	立会	2.88	-	連絡なし
102	19	電気	立会	0.3	-	連絡なし
103	19	ガス	立会	1.9	GL-50cmでV層検出	07.10.29
104	40	道路	立会	246	視見	07.11.21
105	47	ガス	立会	10.3	GL-60cmで車層検出	07.12.2
106	10-19	個人住宅	本調査	279.4	詳細第2章MK II-628	
107	10-19	防球ネット	立会	12672	GL-60cmで車層検出	07.12.3
108	7-50	水道	立会	31	GL-90cmで車層検出	07.12.5
109	19	ガス	立会	0.6	視見	07.11.19
110	21	水道	立会	170	視見	07.11.26
111	21	ガス	立会	0.6	視見	08.2.25
112	21	電気	立会	1.4	-	連絡なし
113	21	ガス	立会	637	視見	07.11.21
114	20	雑売住宅	立会	115.8	-	連絡なし
115	40	ガス	立会	0.6	-	連絡なし
116	21	雑売住宅	確認	139	詳細第2章K21-10	
117	52	公園造成	立会	13910	GL-30cmでIV層検出	07.12.18
118	10-19	道路	立会	504	視見	08.1.7
119	6-28	電気	立会	77.6	GL-30cmでIV層検出	08.1.8
120	37	雑売住宅	立会	83.1	表土	07.12.12
121	37	雑売住宅	立会	83	表土	07.12.14
122	57	電気	立会	0.7	GL-90cmで車層検出	07.12.7
123	22	電気	立会	4	-	連絡なし
124	19	個人住宅	立会	76.5	視見	08.1.24
125	21	個人住宅	立会	4.5	GL-60cmでV層検出	08.1.25
126	11-22	ガス	立会	6.6	-	連絡なし
127	47	宅地造成	立会	132.3	視見	08.1.25
128	10-19	水道	立会	0.7	-	連絡なし
129	37	集合住宅	立会	261	視見	08.1.28
130	19	個人住宅	立会	215	-	連絡なし
131	28	店舗	確認	56	詳細第2章K28-13	
132	10-19	水道	立会	0.9	視見	08.1.7
133	47	ガス	立会	2.4	-	連絡なし
134	2	ガス	立会	0.6	-	連絡なし
135	21	ガス	立会	0.6	視見	08.1.25
136	54	ガス	立会	0.6	視見	08.1.29
137	19	ガス	立会	0.7	-	連絡なし
138	19	電気	立会	0.2	-	連絡なし
139	28	電気	立会	0.7	-	連絡なし
140	19	個人住宅	立会	114	視見	08.4.26
141	19	防球ネット	慎重工事	-	-	連絡なし
142	10-19	水道	立会	1.6	-	連絡なし
143	57	電気	立会	0.7	-	連絡なし
144	53	ガス	立会	3.9	-	連絡なし
145	47	電気	立会	2.8	-	連絡なし
146	7	電気	立会	1.4	-	連絡なし

通番	遺跡No	申請工事内容	指示内容	工事面積(m ²)	調査結果	実施日
147	54	道路	立会	14	-	連絡なし
148	47	駐車場	立会	160	視見	08.4.1
149	21	道路	立会	551	視見	08.3.26
150	47	個人住宅	立会	156	視見	08.5.28
151	3-19	水道	立会	262	視見	08.3.26
152	57	ガス	立会	145	-	連絡なし
153	28	ガス	立会	0.7	-	連絡なし
154	19	宅地造成	確認	910	詳細第2章MK II-629	
155	54	集合住宅	本調査	566	平成20年度事業	
156	28	ガス	立会	0.6	-	連絡なし
157	64	ガス	立会	181	-	連絡なし
158	48	集合住宅	立会	306	塵土	08.4.11
159	19	個人住宅	本調査	493	平成20年度事業	
160		ガス	立会		視見	08.3.28
161	10-19	宅地造成	確認	1084	平成20年度事業	
162		集合住宅	立会		視見	08.5.16
163		個人住宅	立会		-	連絡なし
164	19	個人住宅	本調査	124	平成20年度事業	
165	19	個人住宅	本調査	109	平成20年度事業	

第2章 平成19年度埋蔵文化財調査の概要

調査の概要

個人宅造に伴う調査は、武蔵国分寺跡3件、花沢西遺跡1件の計4件である。排水管地下埋設部分及び建物基礎埋設部分を対象として調査を行った。武蔵国分寺跡の3件はいずれも寺院地内である。

開発計画に伴う確認調査は、武蔵国分寺跡で3件、恋ヶ窪南遺跡で1件、殿ヶ谷戸遺跡で2件、本町遺跡で1件、恋ヶ窪東遺跡で1件の計8件である。このうち恋ヶ窪南遺跡で1件(①地区)が本調査に移行した。

発見遺構と出土遺物

歴史時代の遺構では、武蔵国分寺跡の、僧寺寺院地内の③～⑤地区で、奈良・平安時代の掘立柱建物と竪穴住居が多く検出された。

③地区は、北カマドを有する竪穴住居と、1回の建て替えが行われた掘立柱建物が検出された。北カマドを有する竪穴住居は武蔵国分寺創建期(8世紀後半～9世紀前半)に属する比較的古相の住居である。創建期の集落は、黒鐘谷周辺の武蔵台・武蔵台東遺跡や、僧寺北東地域に当たる、現都立武蔵国分寺公園周辺に分布しており、再建・衰退期(9世紀後半～11世紀)の集落が主に展開する当該地域においては希少な事例である。掘立柱建物は、1回の建て替えが見られた他、柱穴跡からは須恵器甕、須恵器坏、須恵器坏蓋、須恵器瓶、灰軸陶器坑、男瓦、女瓦、鉄製品が出土した。両柱穴の出土遺物は主に柱痕内から出土し、須恵器甕片が直立する状態で出土した。須恵器片の上部からは、柱材が焼失したと考えられる炭化材がままとって検出された。両柱穴の須恵器片は、柱の礎板として使用するために平坦に据えられたような状況ではなく、柱が炭化したのち、柱痕に入り込んだものであるか、あるいは地中の柱の周囲に埋設されていたものが、柱が炭化したのちに柱痕の中央部に倒れこんだものと考えられる。

⑤地区は、掘削時の工具痕が残存する溝が検出された。溝は西側立ち上がりには棚状掘り込みを有しており、その直上に褐色ロームブロックの堆積層が検出された。当調査区の約40m北側に位置する既往の調査区からも溝は検出されており、当調査区と類似した断面形態と土層堆積状況を呈しているため、少なくとも当調査区までの約40mは同様の掘削工程がとられ、埋没過程をたどったと考えられる。断面形態が区西溝に類似しているため、僧寺に何らかの関連を持つ溝と考えられる。

縄文時代の遺構は、恋ヶ窪南遺跡⑦地区で、炉穴と考えられる小穴を検出した。当調査区西側では、縄文時代早期を中心とした住居や集石、炉穴等が検出されており、同一の集落に含まれる遺構であると考えられる。

まとめ

武蔵国分寺跡では、寺院地内の調査区において、遺構の密集度が高い状況が確認され、寺院地内集落の変遷や土地利用形態に関わる重要な成果を得ることができた。

恋ヶ窪遺跡では、恋ヶ窪谷の西側谷壁縁辺部における縄文時代早期の集落の広がりや利用形態の一端が明らかになった。

平成19年度 調査地区一覧

第7表 武蔵国分寺跡 個人宅造に伴う本発掘調査

地区番号	遺跡番号	調査原因 調査回数	所在地	面積(m ²)			現地調査期間	検出遺構	遺物箱数
				調査	工事	対象			
㊸	10 11 19	個人宅造地 第623次調査	西元町2丁目 12-8	27.70	88.00	214.98	H19.6.23~H19.6.6 (10日間)	(歴史)堀立住建物1軒・住居1軒・小穴4基 (縄文)住居1軒・集石1基・小穴6基	2
㊹	10	個人宅造地 第624次調査	西元町2丁目 2242-4	7.40	29.81	100.01	H19.6.18~H19.6.29 (9日間)	(歴史)住居3軒・土灰1基	1
㊺	10 19	個人宅造地 第628次調査	西元町3丁目 2068-3	83.86	84.90	279.47	H20.1.8~H20.1.25 (12日間)	(歴史)住居1軒・溝1条・土坑2基・小穴1基 (縄文)小穴3基	1
面積合計				118.96	202.71	594.46		箱数合計	4

第8表 武蔵国分寺跡 分譲住宅等建設に伴う確認調査

地区番号	遺跡番号	調査原因 調査回数	所在地	面積(m ²)			現地調査期間	検出遺構	遺物箱数
				調査	工事	対象			
㊻	19	分譲住宅建設 第620次調査	西元町3丁目 18-6	2.25	58.26	124.04	H19.4.3~H19.4.4 (2日間)	検出遺構なし	1
㊼	19	分譲住宅建設 第622次調査	泉町1丁目 10-30	40.25	253.74	296.91	H19.4.20~H19.4.24 (3日間)	(縄文)小穴1基	1
㊽	19	分譲住宅建設 第629次調査	東元町4丁目 1740-1	116.27	126.00	910.00	H20.3.13~H20.3.19 (5日間)	検出遺構なし	1
面積合計				158.77	438.00	1,330.95		箱数合計	3

第9表 恋ヶ窪南遺跡 分譲住宅等建設に伴う確認調査

地区番号	遺跡番号	調査原因 調査回数	所在地	面積(m ²)			現地調査期間	検出遺構	遺物箱数
				調査	工事	対象			
㊾	3 19	分譲住宅建設 第4次調査	泉町1丁目 2471-21	57.20	105.38	265.62	H19.10.1~H19.10.11 (8日間)	(歴史)小穴1基 (縄文)集石1基・土坑3基・小穴23基	1
面積合計				57.20	105.38	265.62		箱数合計	1

第10表 花沢西遺跡 個人宅造に伴う本発掘調査

地区番号	遺跡番号	調査原因 調査回数	所在地	面積(m ²)			現地調査期間	検出遺構	遺物箱数
				調査	工事	対象			
㊿	8	個人宅造地 第20次調査	南町3丁目 26-25	1.80	44.70	110.90	H19.6.19~H19.6.20 (2日間)	検出遺構なし	1
面積合計				1.80	44.70	110.90		箱数合計	1

第11表 殿ヶ谷戸遺跡 分譲住宅等建設に伴う確認調査

地区番号	遺跡番号	調査原因 調査回数	所在地	面積(m ²)			現地調査期間	検出遺構	遺物箱数
				調査	工事	対象			
㊽	21	共同住宅建設 第9次調査	南町2丁目 285-40	42.10	143.27	294.93	H19.8.20~H19.8.22 (3日間)	検出遺構なし	1
㊾	21	共同住宅建設 第10次調査	南町2丁目 285-68	8.70	71.75	139.07	H19.12.10~H19.12.14 (4日間)	(縄文)小穴2基	1
面積合計				50.80	215.02	434.00		箱数合計	2

第12表 本町遺跡 分譲住宅等建設に伴う確認調査

地区番号	遺跡番号	調査原因 調査回数	所在地	面積(m ²)			現地調査期間	検出遺構	遺物箱数
				調査	工事	対象			
㊿	28	店舗建設 第13次調査	本町2丁目3	2.04	36.42	56.00	H20.1.16~H20.1.17 (2日間)	検出遺構なし	1
面積合計				2.04	36.42	56.00		箱数合計	1

第13表 恋ヶ窪東遺跡 分譲住宅等建設に伴う確認調査

地区番号	遺跡番号	調査原因 調査回数	所在地	面積(m ²)			現地調査期間	検出遺構	遺物箱数
				調査	工事	対象			
㊽	57	分譲住宅建設 第19次調査	本町4丁目 25-9	10.66	89.99	116.32	H19.4.26~H19.4.27 (2日間)	検出遺構なし	1
面積合計				10.66	89.99	116.32		箱数合計	1

①武蔵国分寺跡第620次調査 確認調査

所在地 西元町3丁目18-6

調査面積 2.25㎡

調査期間 平成19年4月3日～4月4日(2日間)

担当者 小野本 敦

調査概要

調査区は、僧寺中軸線から約260m東の寺院地東南地域に位置する。

調査の対象は配水管埋設により遺構に影響が及ぶ範囲である。当該箇所にトレンチを設定し遺構の確認調査を行った。

地表下約60cmで地山(Ⅲc層)を検出したが、遺構は検出されなかった。

出土遺物

表土から女瓦1点が出土した。



1. 調査区全景 (西から)



2. 調査区全景 (南から)



①地区 第620次調査区全体図

②武蔵国分寺跡第622次調査 確認調査

所在地 泉町1丁目10-30

調査面積 40.25㎡

調査期間 平成19年4月20日～4月24日(3日間) 担当者 立川 明子

調査概要

調査区は、武蔵野段丘上に立地し、約100m北東には恋ヶ窪谷の斜面部が形成されている。武蔵国分寺寺院地区画溝の北辺から約330m北方に位置する。

調査の対象は、カーポート設置によって遺構に影響が及ぶ範囲である。当該箇所にトレンチを設定し遺構の確認調査を行った。

調査区北側道路と同レベルで地山(Ⅲb層)を検出し、遺構確認を行った。

歴史時代の遺構プランは検出されなかった。縄文時代の遺構プランは、確認面としては上層であるため不明瞭ではあったが小穴1基(PJ-1)が検出された。

出土遺物

小穴からは縄文土器2点、礫6点が出土した。その他に、確認面からは縄文土器4点、石器剥片3点、礫1点が出土した。いずれも小片である。図版・図面1はチャートの石器剥片である。



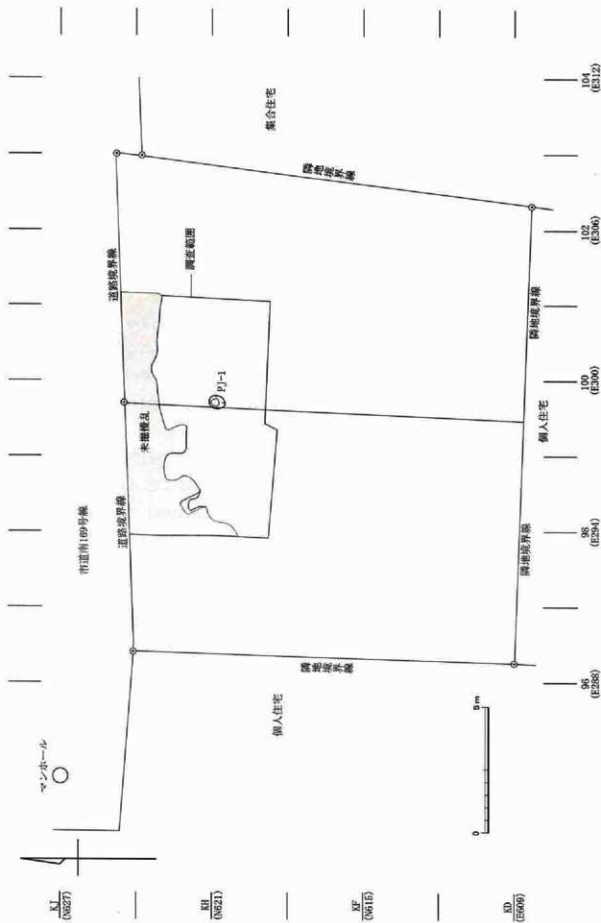
1. 調査区全景(東から)



2. 調査区全景(南から)



3. 調査区全景(西から)



②地区 第622次調査区全体図

③武蔵国分寺跡第623次調査 個人宅造地

所在地 西元町2丁目12-8

調査面積 27.70㎡

調査期間 平成19年5月23日～6月6日(10日間) 担当者 立川 明子

調査概要

調査区は、僧寺院地の西辺を限る東山道武蔵路比定路から約30m東方の、国分寺崖線の斜面付近に位置する。調査の対象は、配水管埋設によって遺構に影響が及ぶ範囲である。当該箇所にはトレンチを設定し遺構の発掘調査を行った。

縄文時代の住居1軒(SI795J)、集石1基(SS112)、小穴5基(PJ-1~5)、奈良・平安時代の掘立柱建物1軒(SB231-1~4)、竪穴住居1軒(SI214)、小穴4基(P-1~4)を検出した。

調査区地表下約20~50cm(地山:Ⅲb層)で歴史時代の遺構確認を行った。掘立柱建物(SB231)は柱間約1.8mである。土層断面により、建て替えが1回行われたことが分かった。柱穴からは須恵器、灰胎陶器杯、男瓦、女瓦、鉄製品、礫が出土した。遺物の年代から掘立柱建物の廃絶年代は9世紀後半と考えられる。竪穴住居(SI214)は年代推定のためカマドのみ断ち割り調査を行ったが遺物が少なく年代は不明である。

地表下約60cmのⅢc層で縄文時代の遺構確認を行った。竪穴住居(SI1795J)は、東西方向の長辺で約4m強である。遺物は、縄文土器片15点と磨石1点が出土した。土器の年代から、縄文時代早期の所産であると考えられる。集石(SS112)は住居(SI795J)の堆積土上から検出された。東西約1mの範囲に礫等の集積が確認できた。

出土遺物

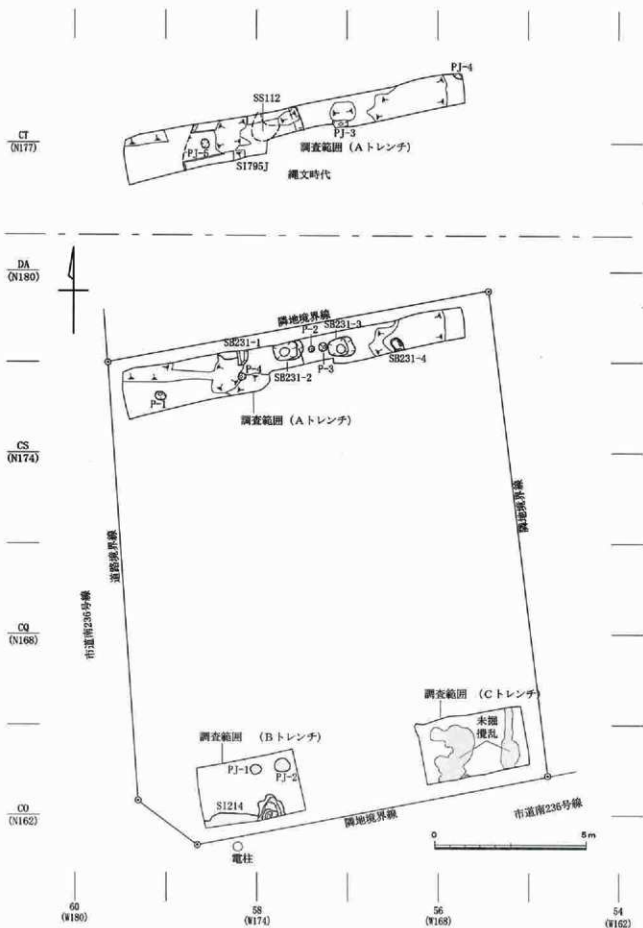
遺構に伴う遺物はSI214から土師器甕、須恵器甕、女瓦、SB231の柱穴から須恵器杯、須恵器甕、土師質土器杯、男瓦、女瓦、SI795Jから縄文土器、SS112から縄文土器、石器剥片、小穴から須恵器甕、打製石斧が出土した。その他、Ⅲb層確認面からは須恵器杯、縄文土器、石皿、剥片、表土から須恵器甕、土師質土器杯、女瓦、縄文土器が出土した。図示したのは図面・図版2~10である。



1. SB231完掘全景(東から)



2. 縄文時代完掘全景(西から)



③地区 第623次調査区全体図

④武蔵国分寺跡第624次調査 個人宅遺地

所在地 西元町2丁目2242-4

調査面積 7.40㎡

調査期間 平成19年6月18日～6月29日(9日間) 担当者 立川 明子

調査概要

調査区は、僧寺寺院地中軸線から約130m西方の寺院地南西地域に位置する。調査の対象は、配水管埋設によって遺構に影響が及ぶ範囲である。当該箇所にはトレンチを設定し遺構の発掘調査を行った。

地表下約40～60cmで地山(Ⅲb層)を検出し、遺構確認を行ったところ平安時代の住居3軒(SI796～798)、土坑1基(SK3333)が検出された。SI796は東西の規模は2.7m以上である。掘り方上層に1層貼り床が認められた。トレンチの東側に硬化面が見られるため、東カマドの可能性が考えられる。住居内からは土坑1基が検出された。貼り床上層から掘り込まれ、住居覆土の下層に位置するため、住居に伴う土坑と考えられる。SI797はSI798に切られているため規模は不明である。新旧の貼り床が確認された。住居内には2基の土坑が検出され、土坑2の床面から須恵器坏が伏せた状態で出土した。須恵器の年代から9世紀末以降の住居と考えられる。SI798は、規模は不明である。掘り方上層に1層貼り床が認められた。SK3333は方形の掘り方を呈しており、規模は南北1.1mである。

出土遺物

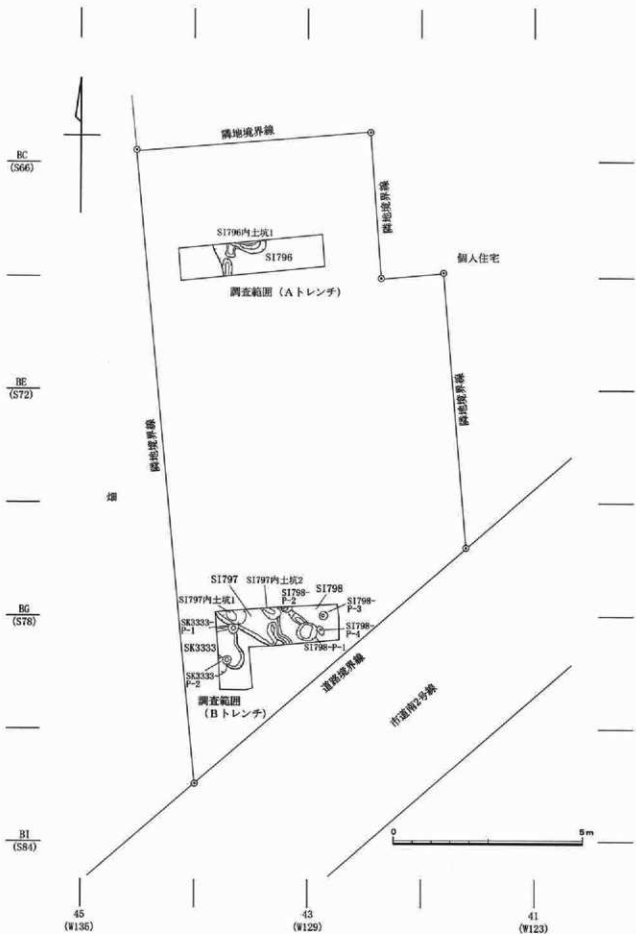
遺構に伴う遺物は、SI796から土師器坏、土師器小型甕、須恵器坏、須恵器甕、土師質土器坏、土師質土器高台付埴、男瓦、女瓦、SI797から土師器小型甕、須恵器坏、土師質土器坏、土師質土器高台付埴、男瓦、女瓦、SI798から土師器坏、土師器小型甕、須恵器坏、須恵器甕、土師質土器坏、灰釉陶器埴、男瓦、女瓦、SK3333から土師器坏、土師器小型甕、須恵器坏、須恵器坏蓋、須恵器甕、土師質土器坏、女瓦が出土した。図示したのは図面・図版11～18である。



1. A トレンチ発掘全景(東から)



2. B トレンチ発掘全景(東から)



④地区 第624次調査全体図

⑤武蔵国分寺跡第628次調査 個人宅造地

所在地 西元町3丁目2068-3

調査面積 83.86㎡

調査期間 平成20年1月8日～1月25日(12日間) 担当者 立川 明子

調査概要

調査区は、僧寺中軸線から約100m東の寺院地南東地域に位置する。調査区の約30m南には寺院地南辺区画溝が走行する。調査の対象は、建物基礎埋設によって遺構に影響が及ぶ範囲である。当該箇所にトレンチを設定し遺構の発掘調査を行った。

調査区地表下約30～50cmで地山(Ⅲb～Ⅲc層)を検出し、歴史時代の遺構確認を行った。溝1条(SD152)、住居1軒(SI799)、土坑2基(SK3336・3337)、小穴1基(P-1)、縄文時代の小穴3基(PJ-1～3)が検出された。溝(SD152)は、上端幅が確認面で約3～2.5m、下端幅が約30～50cm、深さが確認面から約80cmである。断面形は逆台形を呈しており、西側の立ち上がりには櫛状の段が掘り込まれている。溝底面と、東側立ち上がりには溝掘削時の工具痕が残存している。溝の底面に硬質面は確認されなかったが、櫛状掘り込みの直上に褐色ロームブロックの強硬質土層が検出された。住居(SI799)は、調査区の東壁際から部分的に検出した。床面は、1層の貼り床が確認された。土坑は、SK3336が確認面で上端直径70cm、深さ8cmで平面形は円形を呈する。SK3334は、南北60cm以上、東西40cm以上、深さは40cmである。

出土遺物

遺構に伴う遺物は、SI799から土師器小型甕、SD152から土師器小型甕、須恵器坏、須恵器甕、土師質土器、灰釉陶器、男瓦、女瓦が出土した。その他、表土から土師器小型甕、須恵器坏、須恵器甕、土師質土器皿、男瓦、女瓦が出土した。図示したのは図面・図版19～22である。



1. 調査区全景(南から)



2. SI799住居全景(南から)



⑤地区 第628次地区全体図

⑥武蔵国分寺跡第 629 次調査 確認調査

所在地 東元町 4 丁目 1740-1

調査面積 116.27 m²

調査期間 平成 20 年 3 月 13 日～3 月 19 日 (5 日間) 担当者 立川 明子

調査概要

調査区は、僧寺寺院地東辺区画溝から約 200m 東方の寺院地外に位置する。

調査の対象は、浸透枡設置によって遺構に影響が及ぶ範囲である。当該箇所にトレンチを設定し遺構の確認調査を行った。

調査区地表下約 60cm で地山 (Ⅲb 層) を検出し、遺構確認を行ったが、遺構は検出されなかった。

出土遺物

遺物は表土から縄文土器片が 2 点出土した。



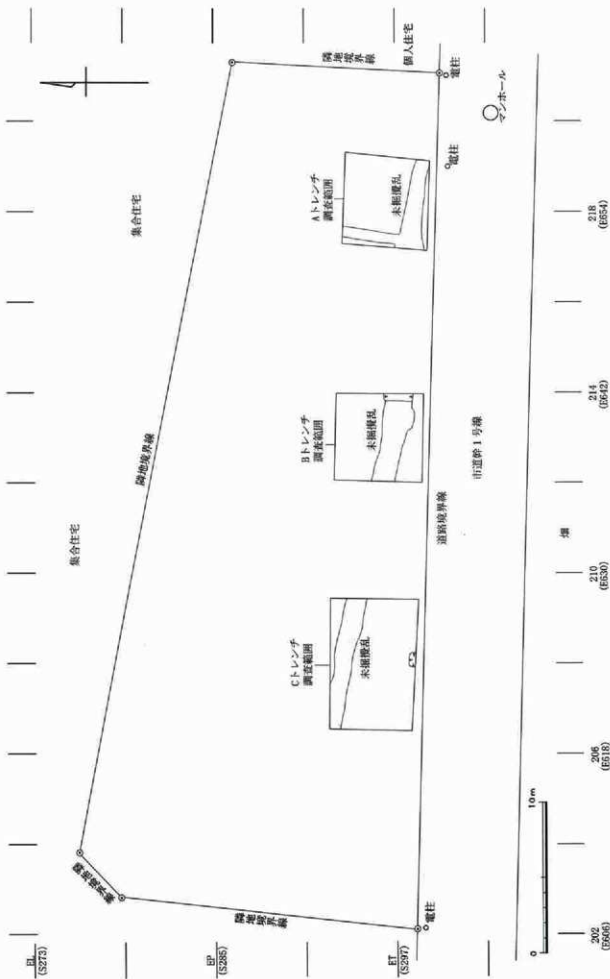
1. A トレンチ全景 (東から)



2. B トレンチ全景 (西から)



3. C トレンチ全景 (東から)



①恋ヶ窪南遺跡第4次調査 確認調査

所在地 泉町1丁目2471-21

調査面積 57.20㎡

調査期間 平成19年10月1日～10月11日(7日間) 担当者 立川 明子

調査概要

調査区は、武蔵野段丘上の、野川本流により開削された恋ヶ窪谷西側の舌状台地縁辺部に立地する。

調査の対象は、地盤改良のための建物基礎埋設によって遺構に影響が及ぶ範囲である。当該箇所にトレンチを設定し遺構の確認調査を行った。

検出された遺構は、縄文時代の集石1基(SS17)、土坑3基(SK65J～67J)、小穴23基(PJ-1～23)、歴史時代の小穴1基(P-1)である。

地表面下40～50cmで地山(Ⅲb～Ⅲc層)を検出し遺構確認を行った。

SS17は、Ⅲb～Ⅲc層中にかけて、東西約4.7mの範囲に礫が検出された。SK65の規模は、東西幅95cm、南北幅55cm以上、平面形は隅丸方形を呈している。SK66は、東西幅95cm、南北幅1.6m以上、平面形は長楕円形を呈している。SK67は東西幅1.5m、南北幅1m、平面形は隅丸方形を呈している。小穴は、23基中4基の炉穴が検出された。PJ-5は規模が長径50cm、平面形は楕円形を呈している。PJ-21は、長径45cm、平面形は楕円形を呈する。PJ-22は長径45cm、平面形は不明である。PJ-23は、長径40cm、平面形は楕円形を呈する。PJ-21～23は、調査区の拡張部から検出されたため、炉床部以外の掘り込みが調査区外に広がる可能性も考えられる。

出土遺物

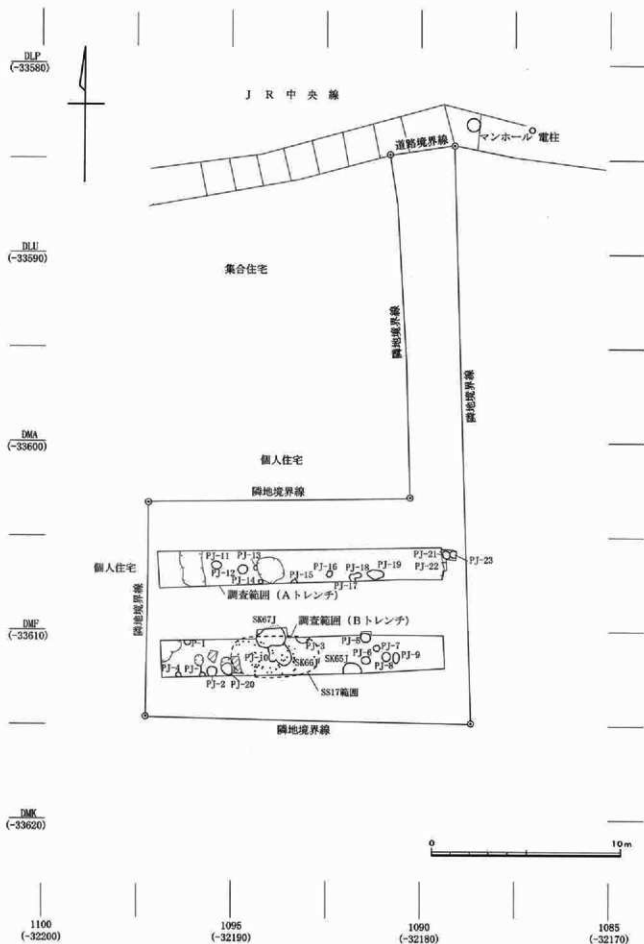
遺構に伴う遺物は出土していない。確認面から縄文土器片、石器剥片、歴史時代の銅銭が出土した。図示したのは、図面・図版23～26である。



1. A トレンチ全景(西から)



2. B トレンチ全景(東から)



⑦地区 第4次調査区全体図

③花沢西遺跡第20次調査 個人宅造地

所在地 南町3丁目26-25

調査面積 1.80㎡

調査期間 平成19年6月19日～20日(2日間)

担当者 小野本 敦

調査概要

調査区は、武蔵野段丘上の、野川に開削された恋ヶ窪谷の東側斜面付近に立地する。

調査の対象は、配水管埋設によって遺構に影響が及ぶ範囲である。当該箇所にトレンチを設定し遺構の確認調査を行った。

調査区地表下約60cmで地山(Ⅲc層)が検出されたが、遺構は検出されなかった。

出土遺物

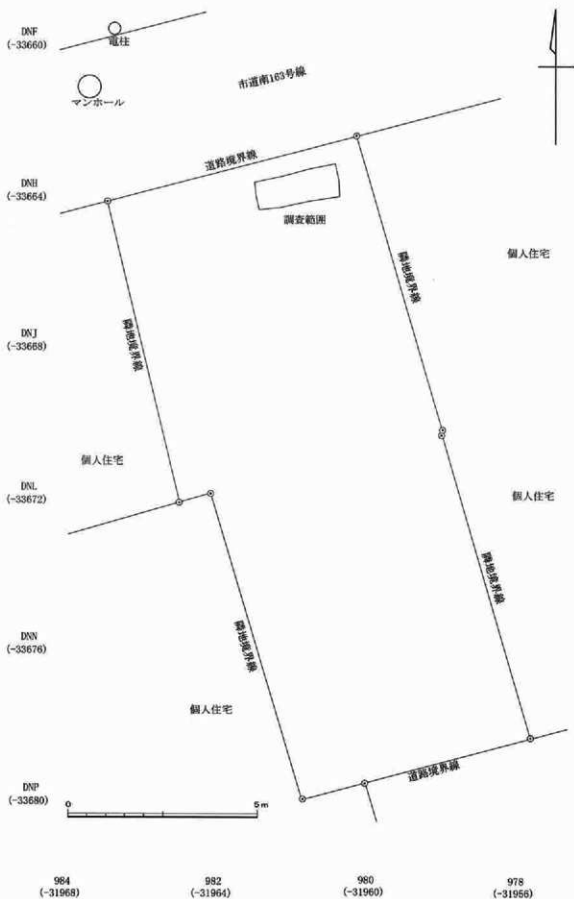
表土から縄文土器片が出土した。



1. 調査区全景(北から)



2. 調査区全景(西から)



⑧地区 第20次調査区全体図

③殿ヶ谷戸遺跡第9次調査 確認調査

所在地 南町2丁目285-40

調査面積 42.10㎡

調査期間 平成19年8月20日～8月22日(3日間) 担当者 立川 明子

調査概要

調査区は、武蔵野段丘上の、殿ヶ谷戸谷と本多谷に囲繞された残丘上に立地する。

調査の対象は、建物基礎埋設によって遺構に影響が及ぶ範囲である。当該箇所にはトレンチを設定し遺構の確認調査を行った。

建物基礎の埋設深度である地表下60～70cmで地山(Ⅲc層)を検出した。上層は碎石盛土と耕作土が堆積していた。

調査区内は、上層の碎石土や解体された建物の基礎によって大部分が攪乱されており、地山の残存部は少なく遺構は検出し得なかった。

出土遺物

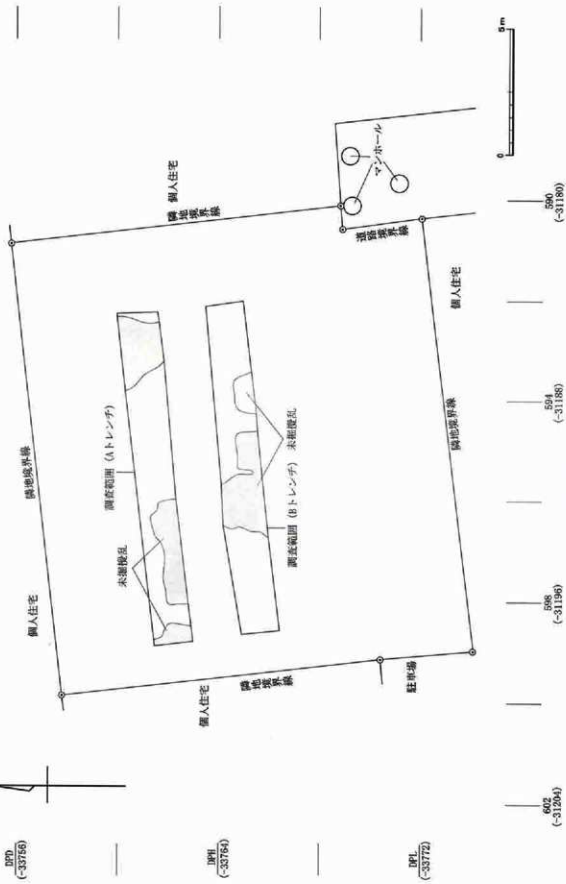
遺物は、表土から縄文土器片が出土した。いずれも小片である。



1. Aトレンチ全景(西から)



2. Bトレンチ全景(西から)



⑨地区 第9次調査区全体図

⑨殿ヶ谷戸遺跡第10次調査 確認調査

所在地 南町2丁目285-68

調査面積 8.70㎡

調査期間 平成19年12月10日～12月14日(4日間) 担当者 立川 明子

調査概要

調査区は、武蔵野段丘上の、殿ヶ谷戸谷と本多谷に囲繞された残丘上に立地する。

調査の対象は、配水管埋設によって遺構に影響が及ぶ範囲である。当該箇所にトレンチを設定し遺構の確認調査を行った。

工事の深度である地表下60cmで地山(Ⅲb層)が検出された。Ⅲb層では縄文時代の遺構確認は困難であるためサブトレンチを設けてⅢc層まで掘り下げ、縄文時代の遺構確認を行ったところ、小穴が2基(PJ-1・2)検出された。

出土遺物

遺構に伴う遺物は出土していない。表土から縄文土器片、打製石斧が出土した。図示したのは、図面・図版27～29である。



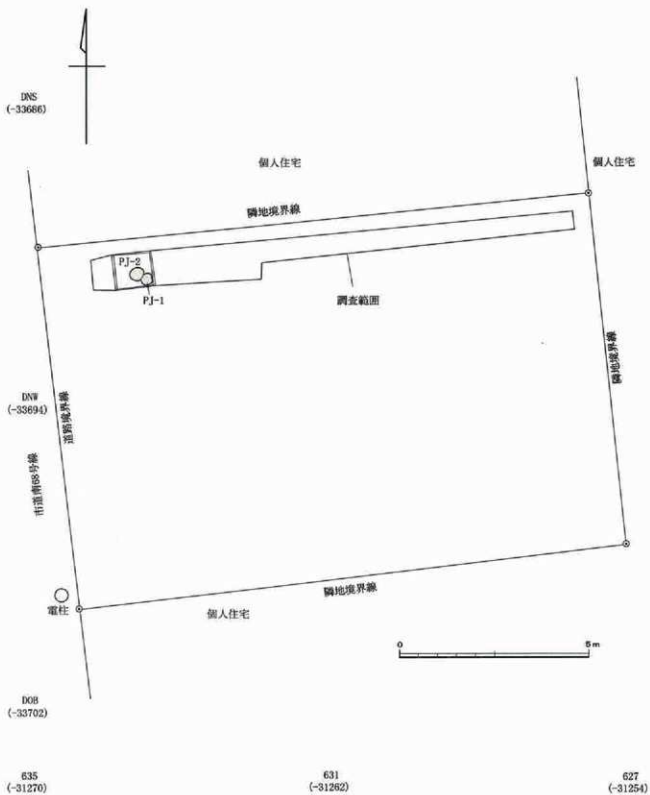
1. 調査区全景(西から)



2. 調査区全景(東から)



3. PJ-1, 2 検出状況(西から)



⑩地区 第10次調査区全体図

①本町遺跡第13次調査 確認調査

所在地 本町2丁目3

調査面積 2.04㎡

調査期間 平成20年1月16日～1月17日(2日間) 担当者 小野本 敦

調査概要

調査区は、武蔵野段丘上、殿ヶ谷戸谷西側斜面付近に立地する。

調査の対象は、配水管埋設によって遺構に影響の及ぶ範囲である。当該箇所にトレンチを設定して遺構の確認調査を行った。

トレンチの大半は既設の旧配水管によって攪乱されていた。攪乱を受けていない部分では現地表面から120cm下で地山(Ⅲc層)を検出したが、遺構は検出されなかった。

出土遺物

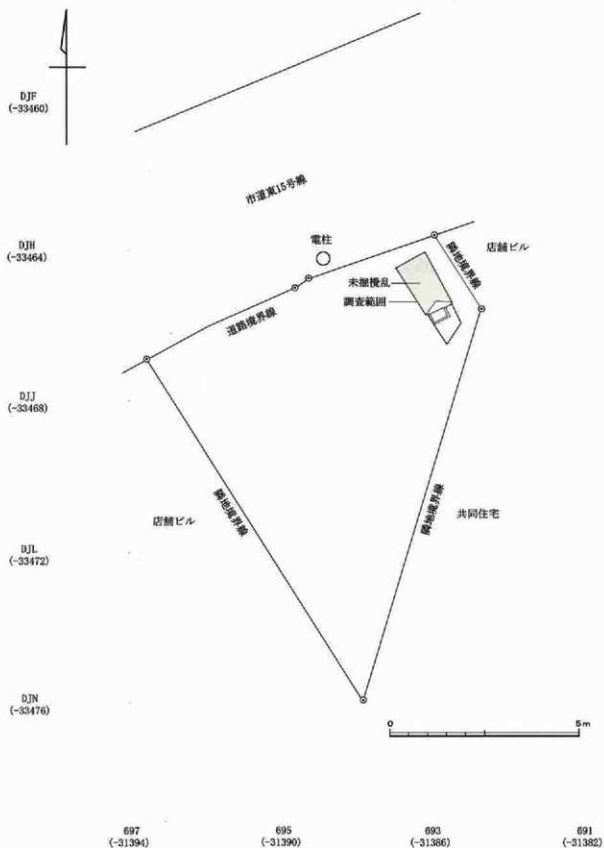
表土及びⅢb層中から縄文土器、打製石斧が出土した。図示したのは図面・図版30である。



1. 調査区全景(北から)



2. 調査区全景(西から)



①地区 第13次調査区全体図

②恋ヶ窪東遺跡第19次調査 確認調査

所在地 本町4丁目25-9

調査面積 10.65㎡

調査期間 平成19年4月26日～4月27日(2日間) 担当者 立川 明子

調査概要

調査区は、武蔵野段丘上、さんや谷の東側台地上に立地する。

調査の対象は、配水管埋設によって遺構に影響が及ぶ範囲である。当該箇所にトレンチを設定し遺構の確認調査を行った。

配水管埋設による確認調査のため調査深度に制限があり、表土を完全に掘り下げられなかった。

部分的に調査区地表下約40cmで地山(Ⅲb層)を検出し、遺構確認を行ったが、縄文時代の確認面としては上層なため明確な遺構プランは検出されなかった。

出土遺物

表土から縄文土器片、打製石斧が出土した。



1. Aトレンチ全景(東から)



2. Bトレンチ全景(北から)



3. Cトレンチ全景(東から)



⑰地区 第19次調査区全体図

付編 昭和50年代、平成元年～9年度の小規模調査の概要

昭和50年代、平成元年～9年度 調査地区一覧

第14表 武蔵国分寺跡 個人宅造に伴う本発掘調査

地区番号	遺跡番号	調査原因 調査回数	所在地	面積 (㎡)		現地調査期間	検出遺構	遺物箱数
				調査	対象			
①	19	個人宅造地 第337次調査	西元町3丁目 2159-14	6.27	239.90	H2.1.17～H2.1.22 (4日間)	検出遺構なし	0
②	19	個人宅造地 第349次調査	西元町3丁目 17-5	3.92	158.41	H2.12.13 (1日間)	検出遺構なし	0
③	19	個人宅造地 第350次調査	西元町3丁目 27-9	2.09	247.00	H2.12.11 (1日間)	検出遺構なし	0
④	19	個人宅造地 第352次調査	西元町3丁目 3-28	4.69	130.55	H3.1.17～H3.1.24 (6日間)	検出遺構なし	0
⑤	19	個人宅造地 第365次調査	西元町3丁目 1894-13	3.85	105.99	H3.10.12～10.15 (4日間)	検出遺構なし	0
⑥	19	個人宅造地 第367次調査	西元町3丁目 17-11	8.00	160.55	H4.1.16～H4.1.21 (4日間)	検出遺構なし	0
⑦	19	個人宅造地 第378次調査	泉町1丁目 8-9	23.30	496.25	H4.12.28 (1日間)	検出遺構なし	0
⑧	19	個人宅造地 第391次調査	西元町2丁目 2456-36	3.00	235.87	H5.10.5～H5.10.6 (2日間)	検出遺構なし	0
⑨	19	個人宅造地 第399次調査	東元町4丁目 1863-8	6.04	156.23	H6.4.25～H6.4.27 (3日間)	検出遺構なし	0
⑩	19	個人宅造地 第410次調査	西元町3丁目 2083-1	1.76	121.56	H7.2.21～H7.2.23 (3日間)	検出遺構なし	0
⑪	19	個人宅造地 第416次調査	西元町3丁目 1915-17	6.00	198.00	H7.9.6～H7.9.7 (2日間)	検出遺構なし	0
⑫	19	個人宅造地 第422次調査	西元町3丁目 17-13	0.95	219.75	H8.4.22～H8.4.23 (2日間)	検出遺構なし	0
⑬	19	個人宅造地 第425次調査	西元町3丁目 1896-7	2.74	132.73	H8.5.17～H8.5.20 (2日間)	検出遺構なし	0
⑭	19	個人宅造地 第441次調査	西元町3丁目 2083-6	2.80	141.85	H9.4.9～H9.4.10 (2日間)	検出遺構なし	0
⑮	19	個人宅造地 第450次調査	東元町3丁目 1399-10、11	3.13	113.61	H9.9.29～H9.10.1 (3日間)	検出遺構なし	0
⑯	19	個人宅造地 第456次調査	西元町3丁目 13-11	2.00	150.65	H10.3.11～H10.3.13 (2日間)	検出遺構なし	0
面積合計				80.34	3,008.90		箱数合計	0

第15表 市内遺跡確認調査

地区番号	遺跡番号	調査原因 調査回数	所在地	面積 (㎡)		現地調査期間	検出遺構	遺物箱数
				調査	対象			
⑰	42	確認調査 第1次調査	新町3丁目 5-7	507.00	8,741.00	S53.2.17～S53.2.27 (7日間)	検出遺構なし	0
⑱	45	確認調査 第1次調査	西町1丁目 19、20	188.00	5,600.00	S57.11.29～S57.12.8 (5日間)	検出遺構なし	0
面積合計				695.00	14,341.00		箱数合計	0

第16表 窓分煙遺跡 個人宅造に伴う本発掘調査

地区番号	遺跡番号	調査原因 調査回数	所在地	面積 (㎡)		現地調査期間	検出遺構	遺物箱数
				調査	対象			
⑲	2	個人宅造地 第32次調査	西恋ヶ窪 1丁目203	18.70	165.27	H1.4.19～H1.4.28 (7日間)	検出遺構なし	0
⑳	2	個人宅造地 第45次調査	西恋ヶ窪 1丁目26-3	5.80	358.15	H5.4.2～H5.4.6 (3日間)	検出遺構なし	0
㉑	2	個人宅造地 第50次調査	西恋ヶ窪 1丁目203-1	2.00	72.66	H6.7.18～H6.7.20 (3日間)	検出遺構なし	0
㉒	2	個人宅造地 第53次調査	西恋ヶ窪 1丁目23-33	1.00	65.99	H4.4.24 (1日間)	検出遺構なし	0
㉓	2	個人宅造地 第59次調査	西恋ヶ窪 1丁目19-15	1.00	74.43	H8.4.11～H8.4.12 (2日間)	検出遺構なし	0
㉔	2	個人宅造地 第62次調査	西恋ヶ窪 1丁目20-6	1.62	154.13	H8.10.17～H8.10.18 (2日間)	検出遺構なし	0
面積合計				30.12	890.63		箱数合計	0

①武蔵国分寺跡第337次調査 個人宅造地

所在地 西元町3丁目2159-14

調査面積 6.27㎡

調査期間 平成2年1月17日～1月22日(4日間) 担当者 上敷領 久

調査概要

調査区は、僧寺寺院地中軸線から約15m西の寺院地南方地域に位置する。

調査の対象は、配水管埋設によって遺構に影響が及ぶ範囲である。当該箇所にはトレンチを設定し遺構の発掘調査を行った。

遺構の検出はなかった。

出土遺物

遺物は出土しなかった。



1. 調査区全景 (西から)

②武蔵国分寺跡第349次調査 個人宅造地

所在地 西元町3丁目17-5

調査面積 3.92㎡

調査期間 平成2年12月13日(1日間)

担当者 上敷領 久

調査概要

調査区は、僧寺寺院地中軸線から約270m東の寺院地南東地域に位置する。

調査の対象は配水管埋設によって遺構に影響が及ぶ範囲である。当該箇所にはトレンチを設定し遺構の発掘調査を行った。

遺構の検出はなかった。

出土遺物

遺物は出土しなかった。



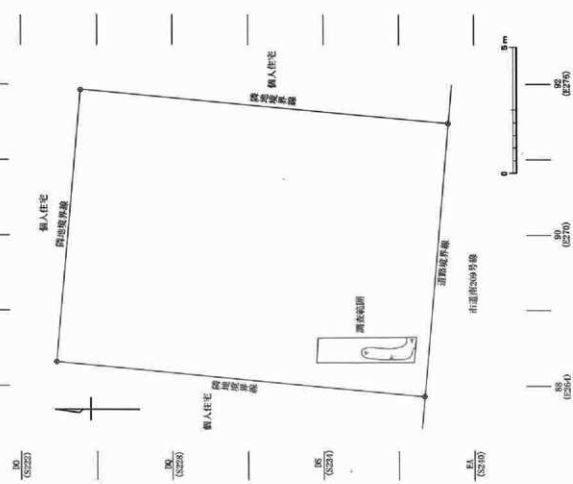
1. 調査区全景 (南から)



2. 調査区土層断面 (西から)



①地区 第337次調査区全体図



②地区 第346次調査区全体図

③武蔵国分寺跡第350次調査 個人宅造地

所在地 西元町3丁目27-9

調査面積 2.09 m²

調査期間 平成2年12月11日(1日間)

担当者 上敷領 久

調査概要

調査区は、僧寺寺院地中軸線から約290m東の寺院地東方地域に位置する。

調査の対象は、配水管埋設によって遺構に影響が及ぶ範囲である。当該箇所にトレンチを設定し遺構の発掘調査を行った。

遺構は検出されなかった。

出土遺物

遺物は出土しなかった。



1. 調査区全景 (東から)



2. 調査区土層断面 (南から)

④武蔵国分寺跡第352次調査 個人宅造地

所在地 西元町3丁目3-28

調査面積 4.69 m²

調査期間 平成3年1月17日～1月24日(6日間) 担当者 上敷領 久

調査概要

調査区は、僧寺寺院地中軸線から約70m東の寺院地南辺地域に位置する。

調査の対象は配水管埋設によって遺構に影響が及ぶ範囲である。当該箇所にトレンチを設定し遺構の発掘調査を行った。

遺構は検出されなかった。

出土遺物

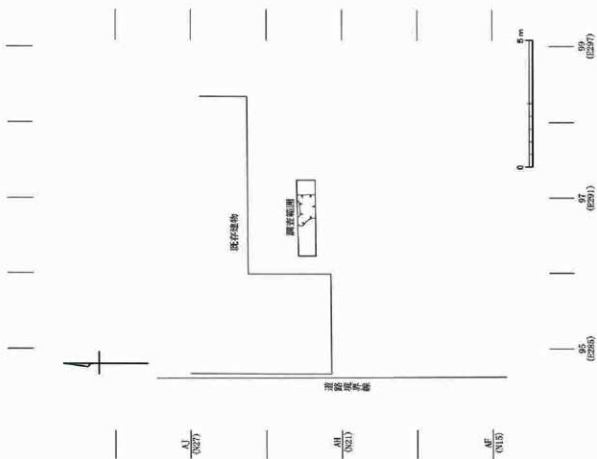
遺物は出土しなかった。



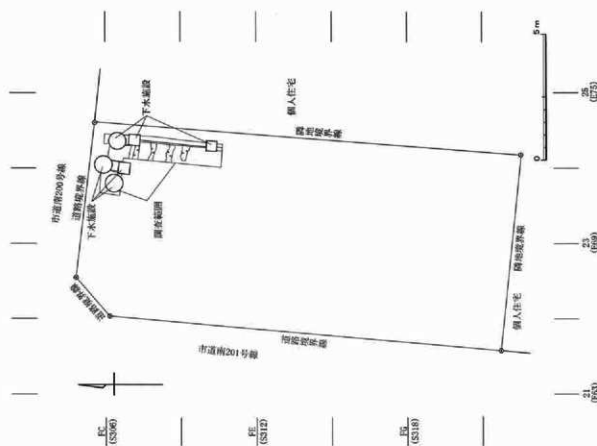
1. 調査区全景 (南から)



2. 調査区土層断面 (西から)



③地区 第350次調査区全体図



④地区 第352次調査区全体図

⑤武蔵国分寺跡第365次調査 個人宅造地

所在地 西元町3丁目1894-13

調査面積 3.85㎡

調査期間 平成3年10月12日～10月15日(4日間) 担当者 上敷領 久

調査概要

調査区は、僧寺寺院地中軸線から約220m東の寺院地外に位置する。

調査の対象は、配水管埋設によって遺構に影響が及ぶ範囲である。当該箇所にトレンチを設定し遺構の発掘調査を行った。

遺構の検出はなかった。

出土遺物

遺物は出土しなかった。



1. 調査区全景 (南から)



2. 調査区土層断面 (東から)

⑥武蔵国分寺跡第367次調査 個人宅造地

所在地 西元町3丁目17-11

調査面積 8.00㎡

調査期間 平成4年1月16日～1月21日(4日間) 担当者 上敷領 久

調査概要

調査区は、僧寺寺院地中軸線から約300m東の寺院地南東地域に位置する。

調査の対象は、配水管埋設によって遺構に影響が及ぶ範囲である。当該箇所にトレンチを設定し遺構の発掘調査を行った。

遺構の検出はなかった。

出土遺物

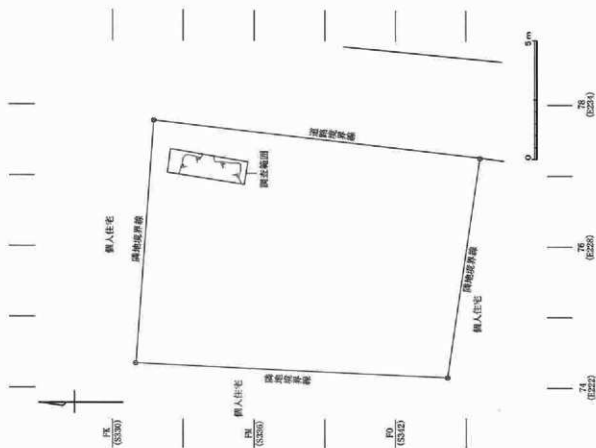
遺物は出土しなかった。



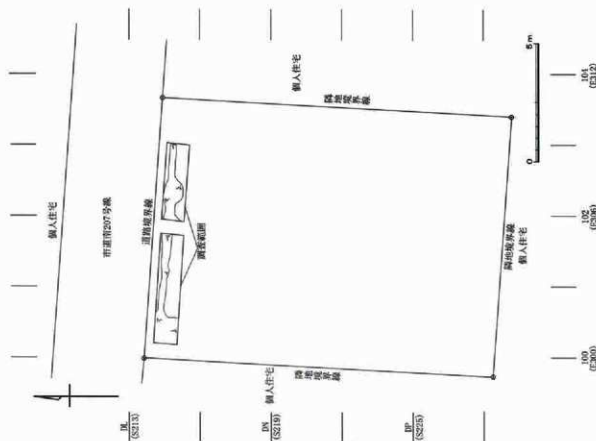
1. 調査区全景 (東から)



2. 調査区土層断面 (北から)



⑤地区 第365次調査区全体図



⑥地区 第367次調査区全体図

⑦武蔵国分寺跡第378次調査 個人宅造地

所在地 泉町1丁目8-9

調査面積 23.30㎡

調査期間 平成4年12月28日(1日間)

担当者 上敷領 久

調査概要

調査区は、武蔵野段丘上で僧寺寺院地北辺区画溝から北へ約220mの寺院地外北東地域に位置する。

調査の対象は、配水管埋設によって遺構に影響が及ぶ範囲である。当該箇所にてトレンチを設定し遺構の発掘調査を行った。

遺構の検出はなかった。

出土遺物

遺物は出土しなかった。



1. 調査区全景 (西から)

⑧武蔵国分寺跡第391次調査 個人宅造地

所在地 西元町2丁目2546-36

調査面積 3.00㎡

調査期間 平成5年10月5日～10月6日(2日間)

担当者 木下 さおり

調査概要

調査区は、僧寺寺院地中軸線から西へ約110mの寺院地北西地域に位置する。

調査の対象は、配水管埋設によって遺構に影響が及ぶ範囲である。当該箇所にてトレンチを設定し遺構の発掘調査を行った。

遺構の検出はなかった。

出土遺物

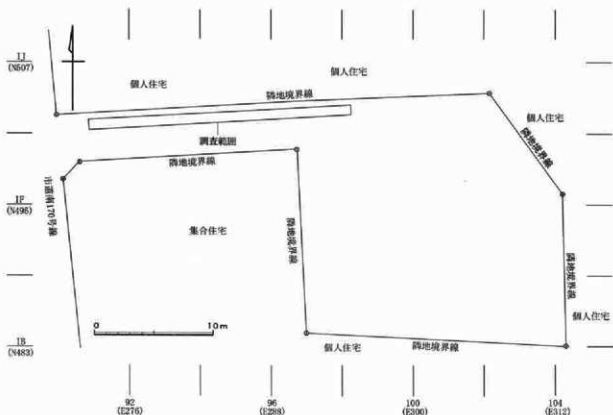
遺物は出土しなかった。



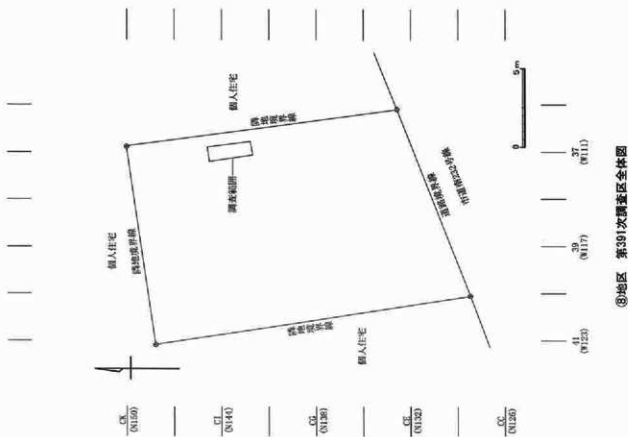
1. 調査区全景 (西から)



2. 調査区全景 (北から)



⑦地区 第378次調査区全体図



⑧地区 第391次調査区全体図

⑨武蔵国分寺跡第399次調査 個人宅造地

所在地 東元町4丁目1883-8

調査面積 6.04㎡

調査期間 平成6年4月25日～4月27日(3日間) 担当者 木下 さおり

調査概要

調査区は、僧寺寺院地中軸線から約360m東の寺院地外に位置する。

調査の対象は、配水管埋設によって遺構に影響が及ぶ範囲である。当該箇所にトレンチを設定し遺構の発掘調査を行った。

遺構の検出はなかった。

出土遺物

遺物は出土しなかった。



1. 調査区全景 (東から)



2. 調査区全景 (東から)

⑩武蔵国分寺跡第410次調査 個人宅造地

所在地 東元町3丁目2083-1

調査面積 1.76㎡

調査期間 平成6年2月21日～2月23日(3日間) 担当者 木下 さおり

調査概要

調査区は、僧寺寺院地中軸線から約65m東の寺院地外に位置する。

調査の対象は、配水管埋設によって遺構に影響が及ぶ範囲である。当該箇所にトレンチを設定し遺構の発掘調査を行った。

遺構の検出はなかった。

出土遺物

遺物は出土しなかった。



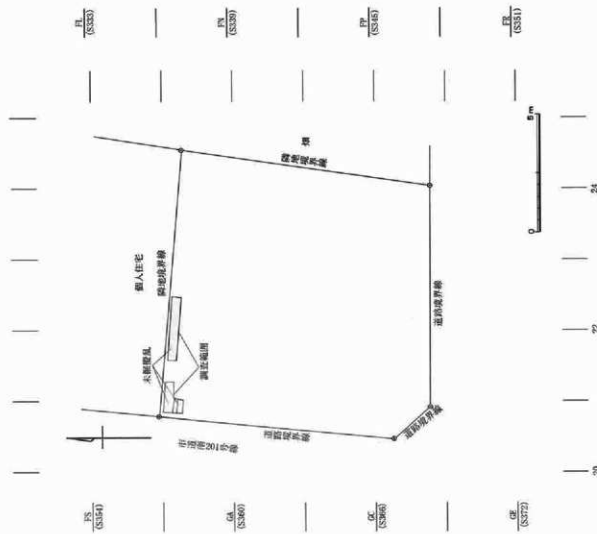
1. 調査区全景 (西から)



2. 調査区全景 (南西から)



⑨地区 第399次調査区全体図



⑩地区 第410次調査区全体図

①武蔵国分寺跡第416次調査 個人宅造地

所在地 西元町3丁目1915-17

調査面積 6.00㎡

調査期間 平成7年9月6日～9月7日(2日間)

担当者 木下 さおり

調査概要

調査区は、僧寺寺院地中軸線から約270m東の寺院地南東地域に位置する。

調査の対象は、配水管埋設によって遺構に影響が及ぶ範囲である。当該箇所にトレンチを設定し遺構の発掘調査を行った。

遺構の検出はなかった。

出土遺物

遺物は出土しなかった。



1. 調査区全景 (西から)



2. 調査区全景 (南から)

②武蔵国分寺跡第422次調査 個人宅造地

所在地 西元町3丁目17-13

調査面積 0.95㎡

調査期間 平成8年4月22日～4月23日(2日間)

担当者 木下 さおり

調査概要

調査区は、僧寺寺院地中軸線から約330m東の寺院地南東地域に位置する。

調査の対象は、配水管埋設によって遺構に影響が及ぶ範囲である。当該箇所にトレンチを設定し遺構の発掘調査を行った。

遺構の検出はなかった。

出土遺物

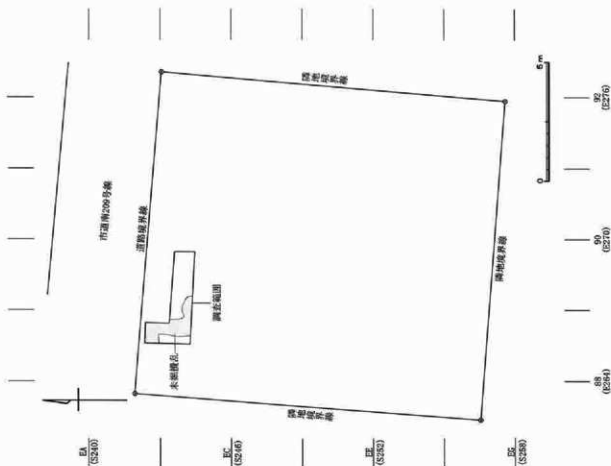
遺物は出土しなかった。



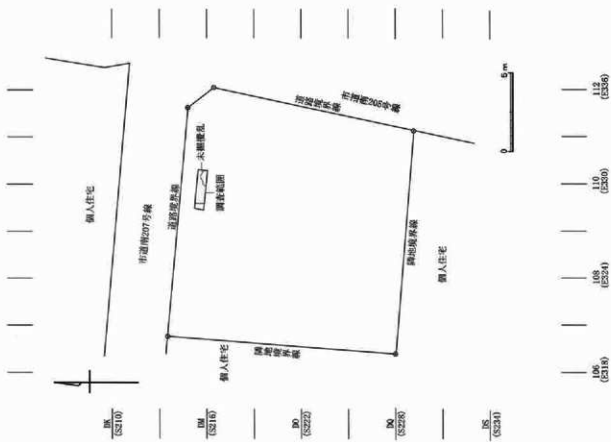
1. 調査区全景 (北から)



2. 調査区全景 (西から)



①地区 第416次調査区全体図



①地区 第422次調査区全体図

⑬武蔵国分寺跡第425次調査 個人宅造地

所在地 西元町3丁目1896-7

調査面積 2.74㎡

調査期間 平成8年5月17日～5月20日(2日間) 担当者 木下 さおり

調査概要

調査区は、僧寺寺院地中軸線から約210m東の寺院地外に位置する。

調査の対象は、配水管埋設によって遺構に影響が及ぶ範囲である。当該箇所にトレンチを設定し遺構の発掘調査を行った。

遺構の検出はなかった。

出土遺物

遺物は出土しなかった。



1. 調査区全景 (西から)



2. 調査区全景 (南から)

⑭武蔵国分寺跡第441次調査 個人宅造地

所在地 西元町3丁目2083-6

調査面積 2.60㎡

調査期間 平成9年4月9日～4月10日(2日間) 担当者 木下 さおり

調査概要

調査区は、僧寺寺院地中軸線から約70m東の寺院地外に位置する。

調査の対象は、配水管埋設によって遺構に影響が及ぶ範囲である。当該箇所にトレンチを設定し遺構の発掘調査を行った。

遺構の検出はなかった。

出土遺物

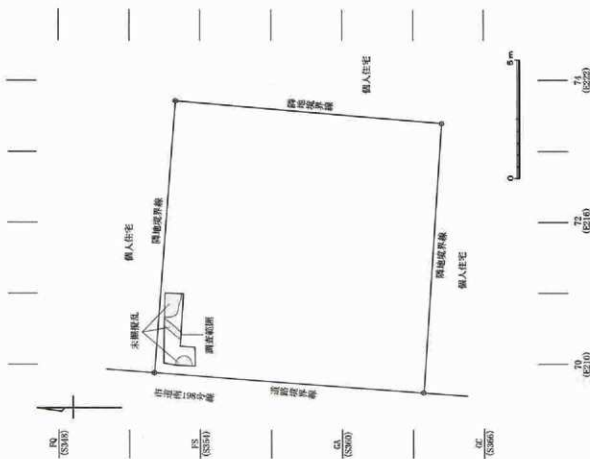
遺物は出土しなかった。



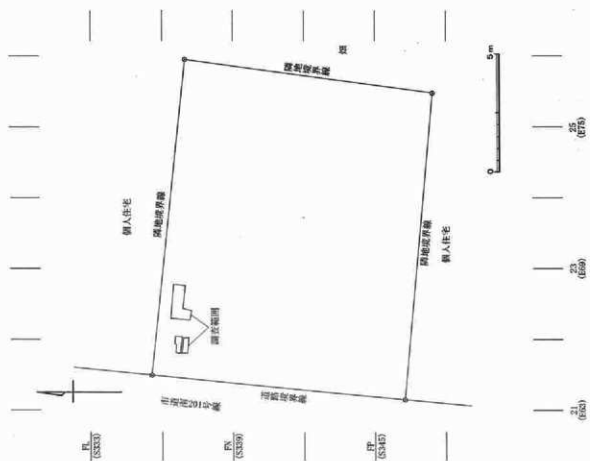
1. 調査区全景 (西から)



2. 調査区全景 (東から)



③地区 第425次調査区全体図



①地区 第441次調査区全体図

⑬武蔵国分寺跡第 450 次調査 個人宅造地

所在地 東元町 3 丁目 1399-10、11

調査面積 3.13 m²

調査期間 平成 9 年 9 月 29 日～10 月 1 日 (3 日間)

担当者 上敷領 久

調査概要

調査区は、僧寺寺院地東辺区画溝から約 270m 東の寺院地外に位置する。

調査の対象は、配水管埋設によって遺構に影響が及ぶ範囲である。当該箇所にトレンチを設定し遺構の発掘調査を行った。

遺構の検出はなかった。

出土遺物

遺物は出土しなかった。



1. No.1 トレンチ全景 (東から) 2. No.2 トレンチ全景 (西から) 3. No.3 トレンチ全景 (西から)

⑭武蔵国分寺跡第 456 次調査 個人宅造地

所在地 西元町 3 丁目 13-11

調査面積 2.00 m²

調査期間 平成 10 年 3 月 11 日～3 月 13 日 (2 日間)

担当者 上敷領 久

調査概要

調査区は、僧寺寺院地中軸線から約 150m 東の寺院地南東地域に位置する。

調査の対象は、配水管埋設によって遺構に影響が及ぶ範囲である。当該箇所にトレンチを設定し遺構の発掘調査を行った。

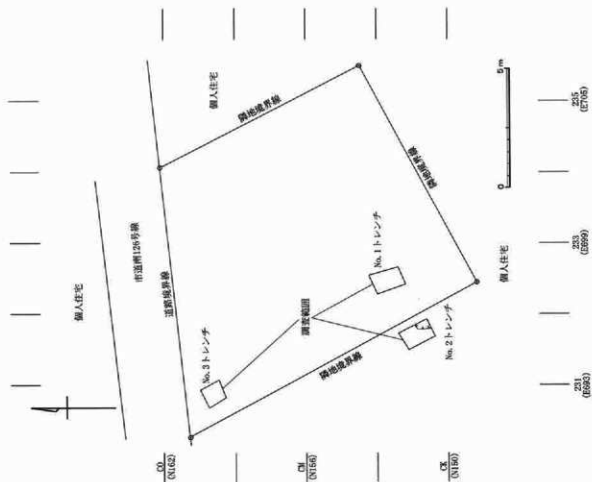
遺構の検出はなかった。

出土遺物

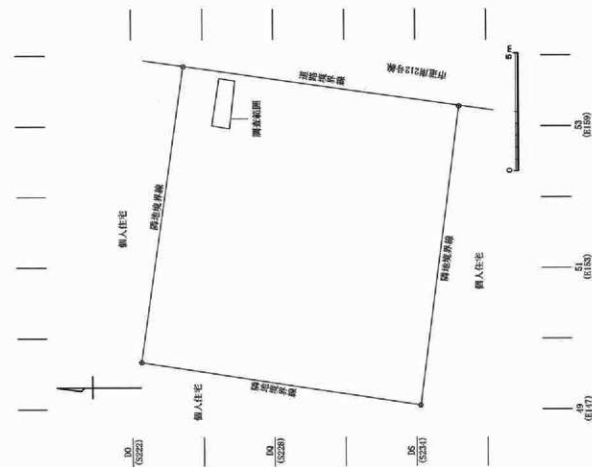
遺物は出土しなかった。



1. 調査区全景 (西から)



⑤地区 第450次調査区全体図



⑤地区 第456次調査区全体図

① No.42 遺跡第1次調査 確認調査

所在地 新町3丁目5-7

調査面積 507.00㎡

調査期間 昭和53年2月17日～2月27日(7日間) 担当者 広瀬 昭弘

調査概要

当調査区は、昭和51年に実施された遺跡分布調査によって確認された遺物散布地である。

調査は、トレンチを8箇所設定し、遺構の確認調査を行った。

遺構の検出はなかった。当調査区周辺は遺構の存在が希薄な地域であると考えられる。

出土遺物

遺物は出土しなかった。



1. 第1トレンチ全景
(西から)



2. 第4トレンチ全景
(西から)



3. 第6トレンチ全景
(西から)

③No.45 遺跡第1次調査 確認調査

所在地 西町1丁目19、20

調査面積 188.00㎡

調査期間 昭和57年11月29日～12月8日(5日間) 担当者 広瀬 昭弘

調査概要

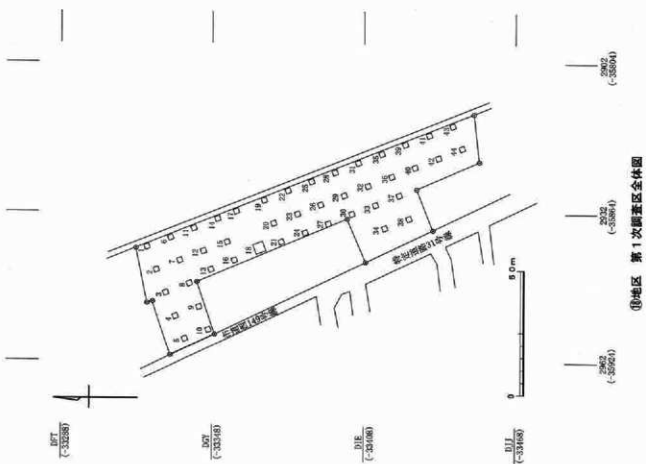
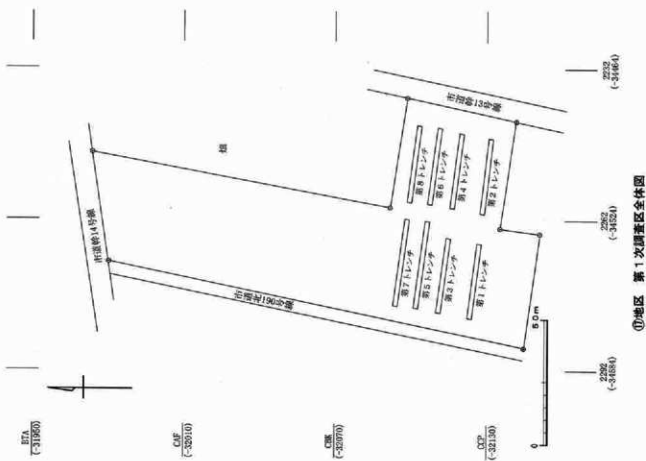
当調査区は、昭和51年に実施された遺跡分布調査によって確認された遺物散布地である。

調査は、トレンチを44箇所設定し、遺構の確認調査を行った。

遺構の検出はなかった。当調査区周辺は遺構の存在が希薄な地域であると考えられる。

出土遺物

遺物は出土しなかった。



⑬恋ヶ窪遺跡第32次調査 個人宅造地

所在地 西恋ヶ窪1丁目203

調査面積 18.70㎡

調査期間 平成元年4月19日～4月28日(8日間) 担当者 広瀬 昭弘

調査概要

調査区は、武蔵野段丘上の恋ヶ窪谷の緩傾斜地付近に位置する。

調査の対象は、配水管埋設によって遺構に影響が及ぶ範囲である。当該箇所にトレンチを設定し遺構の発掘調査を行った。

遺構の検出はなかった。

出土遺物

遺物は出土しなかった。



1. 北側トレンチ全景 (南から)



2. 南側トレンチ全景 (西から)

⑭恋ヶ窪遺跡第45次調査 個人宅造地

所在地 西恋ヶ窪1丁目26-3

調査面積 5.80㎡

調査期間 平成5年4月2日～4月6日(3日間) 担当者 上村 昌男

調査概要

調査区は、武蔵野段丘上の恋ヶ窪谷の緩傾斜地付近に位置する。

調査の対象は、配水管埋設によって遺構に影響が及ぶ範囲である。当該箇所にトレンチを設定し遺構の発掘調査を行った。

遺構の検出はなかった。

出土遺物

遺物は出土しなかった。



1. 調査区全景 (東から)

㊦恋ヶ窪遺跡第50次調査 個人宅造地

所在地 西恋ヶ窪1丁目203-1

調査面積 2.00㎡

調査期間 平成6年7月18日～7月20日(3日間) 担当者 上村 昌男

調査概要

調査区は、武蔵野段丘上の恋ヶ窪谷の緩傾斜地付近に位置する。

調査の対象は、配水管理設によって遺構に影響が及ぶ範囲である。当該箇所にトレンチを設定し遺構の発掘調査を行った。

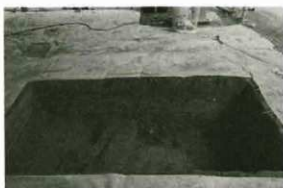
遺構の検出はなかった。

出土遺物

遺物は出土しなかった。



1. 調査区全景 (南から)



2. 調査区土層断面 (東から)

㊦恋ヶ窪遺跡第53次調査 個人宅造地

所在地 西恋ヶ窪1丁目23-33

調査面積 1.00㎡

調査期間 平成7年4月24日(1日間)

担当者 上村 昌男

調査概要

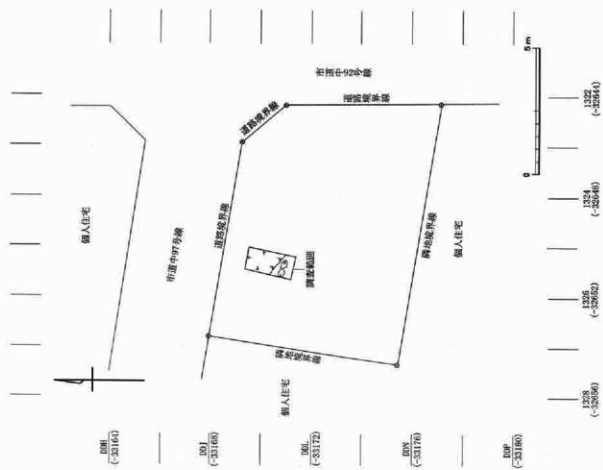
調査区は、武蔵野段丘上の恋ヶ窪谷の緩傾斜地付近に位置する。

調査の対象は、配水管理設によって遺構に影響が及ぶ範囲である。当該箇所にトレンチを設定し遺構の発掘調査を行った。

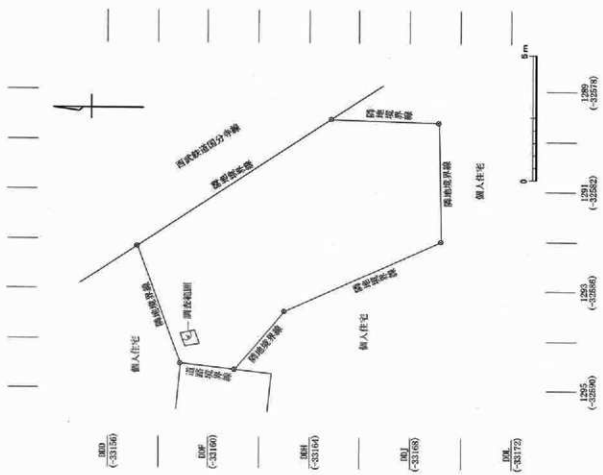
遺構の検出はなかった。

出土遺物

遺物は出土しなかった。



②地区 第50次調査区全体図



②地区 第53次調査区全体図

㊦恋ヶ窪遺跡第59次調査 個人宅造地

所在地 西恋ヶ窪1丁目19-15 調査面積 1.00㎡
調査期間 平成8年4月11日～4月12日(2日間) 担当者 上村 昌男
調査概要

調査区は、武蔵野段丘上の恋ヶ窪谷の緩傾斜地付近に位置する。

調査の対象は、配水管埋設によって遺構に影響が及ぶ範囲である。当該箇所にトレンチを設定し遺構の発掘調査を行った。

遺構の検出はなかった。

出土遺物

遺物は出土しなかった。



1. 調査区全景 (西から)

㊦恋ヶ窪遺跡第62次調査 個人宅造地

所在地 西恋ヶ窪1丁目20-6 調査面積 1.62㎡
調査期間 平成8年10月17日～10月18日(2日間) 担当者 上村 昌男
調査概要

調査区は、武蔵野段丘上の恋ヶ窪谷の緩傾斜地付近に位置する。

調査の対象は、配水管埋設によって遺構に影響が及ぶ範囲である。当該箇所にトレンチを設定し遺構の発掘調査を行った。

遺構の検出はなかった。

出土遺物

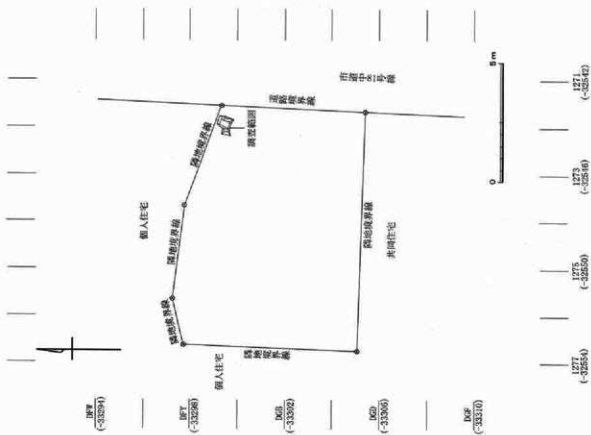
遺物は出土しなかった。



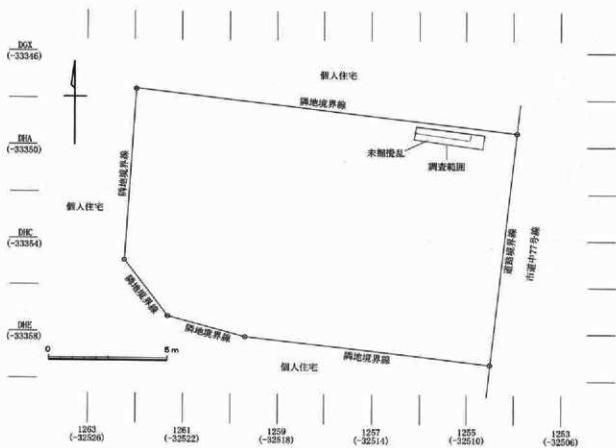
1. 調査区全景 (東から)



2. 調査区土層断面 (南から)



地区 第59次調査区全体図



地区 第62次調査区全体図

遺物観察表(1)

歴史時代土器									
図面番号 登録No.	出土層位	器種	残存率	口径(cm) 器高(cm) 底径(cm)	色調	胎土	成形・整形・調整	備考	
2 623 PK01	SB231	須恵器B 坏	体部～ 底部	— (3.4) (3.6)	灰褐色～ 黄灰褐色	小石少量混入	ロクロ調整、底部回転糸切り	硬質	
3 623 PK02	SB231	須恵器 蓋	口縁～ 体部	((16.4)) (2.5)	灰褐色	小石少量混入	ロクロ調整	硬質	
4 623 PK06	SB231	須恵器 甕	口縁～ 口頸部	— (9.3)	暗灰褐色	緻密	ロクロ調整	硬質	
5 623 FN01	SB231	灰輪埴 土器	口縁～ 体部	((15.6)) (4.1)	灰白色	緻密	ロクロ調整	硬質 内面ハケスリ 黒墨90号露式	
11 624 PL02	SI796	土師質 土器 高台付 埴	体部～ 底部	— (3.5) 7.5 高台高1.0	橙色	粗砂粒やや多く 混入	ロクロ調整、底部回転糸切り 底部高台貼付後ナゲ	やや硬質	
12 624 PL04	SI797- SK2	土師質 土器 坏	完形	11.9 3.9 5.3	淡橙色	砂微量混入	ロクロ調整、底部回転糸切り	やや硬質 内面煤付着	
13 624 PL06	表土	土師質 土器 高台付 埴	口縁～ 底部	((14.2)) 6.2 (6.1) 高台高0.8	外面橙色 内面黒褐色	金灰砂少量混入	ロクロ調整、底部回転糸切り 底部高台貼付後ナゲ	内面黒色処理 やや硬質	
19 628 PK01	SI799	須恵器 坏	完形	11.5 3.9 5.6	灰褐色	緻密	ロクロ調整、底部回転糸切り	硬質	
20 628 PK02	SI799	須恵器 坏	完形	13.7 5.5 6.1	灰褐色～ 赤褐色	小石少量混入	ロクロ調整、底部回転糸切り	やや硬質、口縁部 内面に煤付着 体部外面に「J」黒墨	
21 628 PK03	SI799	須恵器 坏	口縁～ 底部	((12.0)) 3.9 (5.4)	灰褐色	緻密	ロクロ調整、底部回転糸切り	硬質、口縁部内 外面に煤付着	
22 628 PH01	SI799	土師器 甕	口縁～ 体部	((12.2)) (10.3)	暗赤褐色 ～暗褐色	緻密	口縁部内外面強く横ナゲ、体 部外面上半、横方向にヘラ削 り	やや硬質	
瓦									
図面番号 登録No.	出土層位	器種	狭幅(cm)	全長(cm)	素材	布目	叩き	型面 特徴	備考
			広幅(cm)	厚さ(cm)					
14 624 KC01	SI796	男瓦	—	(6.6)	—	((30×24))	—		赤褐色～暗褐色、海綿骨針多量に混 入、硬質、凸面に「甲」のヘラ書文字
15 624 KD01	SI796	女瓦	—	(21.1)	粘土板	16×19	縄L13	狭・側面 一面ハケス リ	II-B技法、灰褐色～淡黄褐色、小石微 量混入、硬質。凹面に不明ヘラ書文字
銭貨									
図面番号 登録No.	出土層位	銭名	時代 初周年	直径(mm)	内径(mm)	銭厚(mm)	重量(g)	残存率	備考
				銭径(mm)	内径(mm)				
23 K3-4 MA01	表土	治平元寶	1064年	24	23	2	2.4	完形	
釘鉄									
図面番号 登録No.	出土層位	種別	残存率	最大長 (mm)	最大幅 (mm)	最大厚 (mm)	頭幅 (mm)	重量(g)	備考
16 624 MM01	SI796	釘	完形	94	7	9	13	14.4	
17 624 MM02	SI796	釘	完形	40	4	3	8	1.6	
18 624 MM03	SI796	釘	—	(132)	10	10	—	57.6	

遺物観察表(2)

不明鉄製品										
図面番号 登録No.	出土 層位	種別	残存率	最大長 (mm)	最長部外 径(mm) 最長部内 径(mm)	最大幅 (mm)	最大厚 (mm)	厚金長 (mm) 厚金間隔 (mm)	重量 (g)	備 考
6 623 MZ01	SB231	鍍金具?	完形?	82	16 7	12	9	20×22 7	18.7	形状:頭部円潰 脚部:網リピン状 断面:方形 厚金:方形

縄文土器									
図面番号 登録No.	出土層 位	器 種	残存率	口径 器高 底径(cm)	色 調	胎 土	文様の施文行程等	時期	備 考
27 K21-10 JF01	Ⅲb層	深鉢	胴部	— (4.9)	暗赤褐色	金賞母、粗砂粒 やや多量混入	断面三角形の屈折帯を横位に貼付 け、單節縄文LRを横位に施文	加曾利 B3式	
28 K21-10 JF02	Ⅲb層	深鉢	胴部	— (6.3)	暗赤褐色	金賞母、粗砂粒 やや多量混入	外面:ヘラ書により波状文を掻出	加曾利 B3式	

打製石斧										
図面番号 登録No.	出土層 位	種 別	残存率	石 材	刃 部 形 態	最大長 (mm)	最大幅 (mm)	最大厚 (mm)	重量 (g)	備 考
7 623 AG01	Ⅲb層	打製 石斧	完形	泥岩	凸刃	133	68	14	175.1	両側縁敲打して刃部作出
8 623 AG02	Ⅲb層	打製 石斧	完形	泥岩	凸刃	94	57	16	99.8	両側縁敲打して刃部作出
29 K21-10 AG01	Ⅲb層	打製 石斧 断片	—	泥岩	凸刃	(69)	50	15	57.8	両側縁敲打して刃部作出
30 K2R-13 AG01	Ⅲb層	打製 石斧	完形	泥岩	凸刃	106	45	18	120.8	両側縁敲打して刃部作出

調整剥片石器・剥片									
図面番号 登録No.	出土層 位	種 別	残存率	石 材	最大長 (mm)	最大幅 (mm)	最大厚 (mm)	重量 (g)	備 考
1 622 AT01	Ⅲb層	剥片	完形	チャート	27	20	6	2.0	
9 623 AL01	Ⅲb層	調整 剥片	完形		47	117	12	60.8	
24 K3-4 AT01	Ⅲb層	剥片	完形	チャート	27	18	5	2.4	
25 K3-4 AT02	Ⅲb層	剥片	完形	黒曜石	19	12	3	4.0	

磨石												
図面番号 登録No.	出土層 位	種 別	残存率	石 材	成 形 加 工	整 形 加 工	素 材 形 態	最大長 (mm)	最大幅 (mm)	最大厚 (mm)	重量 (g)	備 考
10 623 AL01	SI795J	磨石	完形	砂岩	なし	なし	楕円盤	96	86	57	680.0	両面磨鈍

不明石器										
図面番号 登録No.	出土層 位	種 別	残存率	石 材	刃 部 加 工	最大長 (mm)	最大幅 (mm)	最大厚 (mm)	重量 (g)	備 考
26 K3-4 AZ01	Ⅲb層	不明	完形?	凝岩	—	32	50	6	14.9	表面は割離面、押圧して抉部作出

遺物図面 (1)



1 622 AT01
遺物外



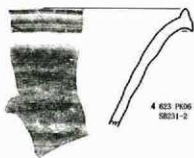
2 623 P601
SR231-2



3 623 P602
SR231-3



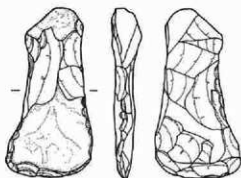
5 623 P601
SR231-3



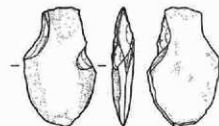
4 623 P606
SR231-2



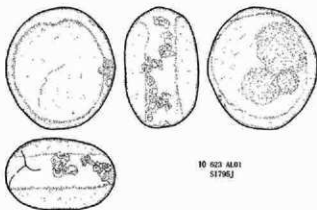
6 623 M201
SR231-3



7 623 AG01
遺物外



8 623 AG02
遺物外



10 623 AL01
S1796J

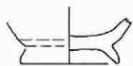


9 623 AB01
遺物外

0 (1~5・7~10) 10cm

0 (8) 10cm

遺物図面(2)



11 624 PL02
S1796



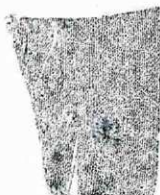
12 624 PL04
S1797-SK2



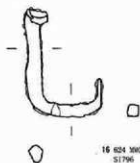
13 624 PL05
蓋物外



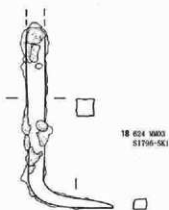
14 624 BC01
S1796



15 624 BC01
S1796



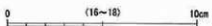
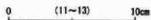
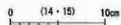
16 624 3001
S1796



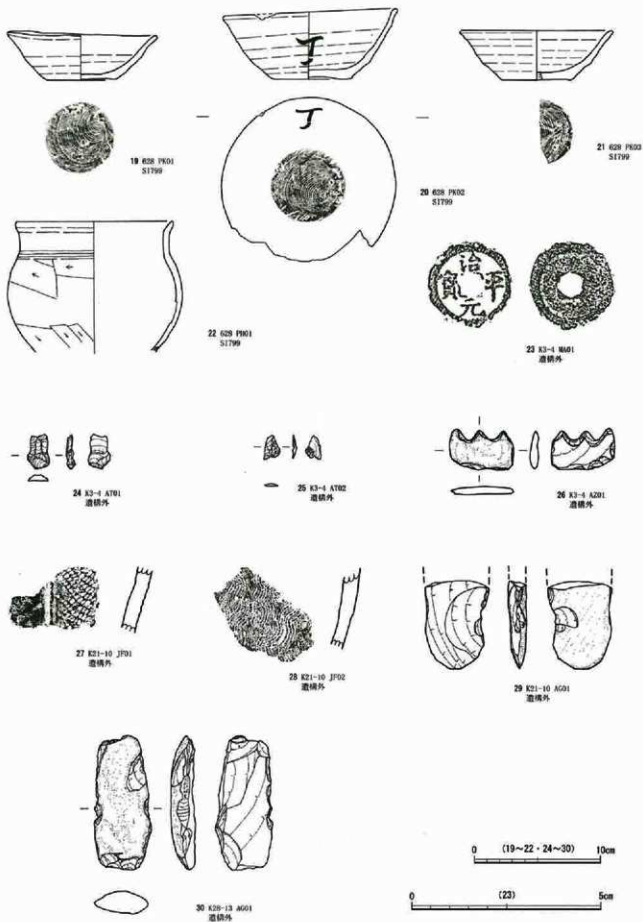
18 624 3002
S1796-SK1



17 624 3002
S1796



遺物図面(3)



平成19年度 国分寺市埋蔵文化財調査年報

発行日 平成21年 3月31日
編著者 国分寺市遺跡調査団
© (団長 坂詰 秀一)
発行所 東京都国分寺市教育委員会
〒185-8501 国分寺市戸倉1-6-1
Tel 042-325-0111 (代表)

印刷所

令和4年(2022)2月2日 デジタル版作成